

第六十三回
帝國議會
貴族院

製絲業法案特別委員會議事速記録第一號

付託議案

製絲業法案

委員氏名

委員長 伯爵兒玉 秀雄君
 副委員長 男爵松岡 均平君
 侯爵大隈 信常君
 子爵會我 祐邦君
 子爵織田 信恒君
 男爵平野 長祥君
 男爵藤村 義朗君
 藤澤幾之輔君
 藤田 四郎君
 室田 義文君
 坂田 貞君
 金杉英五郎君
 磯村豊太郎君
 森 廣三郎君
 佐々木八十八君

昭和七年九月二日(金曜日)午前九時三十分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ開會

イタシマス、政府委員ヨリ法案ノ御説明ヲ願ヒマス、簡單ニドウゾ……

○政府委員(入江魁君) ソレデハ僭越デゴ

第四部第三類 製絲業法案特別委員會議事速記録第一號 昭和七年九月二日

ザイマスルガ、私カラ御説明申上ゲマス、大臣方直グオ出デニナルト思ヒマスガ、尙ホ御出デニナリマシタ其上デ、詳シイ御質問等ニ付キマシテハ御答ヲスルコトニ致シマシテ、大體私カラ申上ゲマス、製絲業ハ我國重要産業ノ一ツデゴザイマシテ、此業ノ消長ト云フコトハ蠶絲業全般ノミナラズ、國民經濟上將又國際貸借上ニ非常ナ關係ヲ持ッテ居リマス、ソレデアリマスルカラ、政府ハ此業ニ對シテマシテ、常ニ深甚ノ考慮ヲ拂、テ居ル次第デゴザイマシテ、輸出生絲検査法、蠶絲業組合法、絲價安定ニ關シマスル各種法律ノ制定等諸般ノ施設ニ努メテ參、タノデゴザイマス、然ルニ斯様ノ現狀ヲ見マスルノニ遺憾ナガラ猶ホ未ダ改善ヲ要スベキ事項ガ少クゴザイマセヌ、就中著シキ缺陷ト認メラレマスルノハ斯業經營ノ工場ノ規模ガ大小雜然ト致シテ居リマシテ、亂立ヲ致シテ居リマスル傾向ニゴザイマス、從テ資力ガ極メテ薄クナッテ充實ヲ缺クモノガ多イノデゴザイマス、其結果經營ノ基礎ガ必シモ堅實ナルモノト云フ譯ニ參ラヌノデアリマス、斯ウ云フ不堅實ナル工場ニゴザイマシテハ一口ノ荷ガ、輸出ノ單位

デ
 ゴザイマスルカ、千斤ニナッテ居リマス、千斤ノ生絲ヲ生産イタシマスルニモ、長イ時日ヲ要スル爲ニ製品ノ販賣回數ガ非常ニ少クゴザイマシテ、從テ絲價騰落ノ利害ヲ調節シ難イト云フコトニナリマスノデアリマス、尙又資金ノ回收ガ遲イ爲ニ運轉資金ノ輕減ト金利ノ節約ヲ期スルコトガ出來ナイバカリデハゴザイマセヌ、其信用ノ程度ガ低イ爲ニ所要資金ノ借入ニ高イ利率ヲ拂ハナケレバナラナイト云フ狀態デゴザイマス、且又設備ガ非常ニ不完全デアリマスル爲ニ其生産イタシマスル生絲ハ品質ガ優良デアルト云フコトハ申サレナイデゴザイマス、從テ此經營工場ハ一度經濟界ノ變動ニ依リマシテ、絲價ノ下落ヲ見マスルト之ニ堪フル力ガ乏シクナリマスノデ、從テ製品ヲ賣急グト云フ關係ニナルノデゴザイマス、其製品ヲ賣急ギマスル關係カラ致シマシテ、絲ノ値段ノ暴落ヲ激成イタシマシテ、從テ經營ノ破綻ヲ來スト云フヤウナ結果ニ相成ルノデゴザイマス、其爲ニ此休業又ハ廢業ヲスルト云フ者ガ非常ニ多イノデゴザイマス、從テ其結果ト致シマシテ、非常ニ養蠶業ニ於キマシテ、破綻ヲ來スト云

フコトニ相成リマスノデ、累ヲ養蠶業者竝ニ從業職工ト云フ風ナ方面ニモ及ボスト云フ結果ニ相成ルノデアリマス、又偶、絲價ガ良クナリマスルト其工場ガ再ビ恢復スル、再ビ興キル、斯ウ云フ起伏常ナイ狀態ニナッテ居リマスコトト云フモノガ蠶絲業界ニ與ヘマスル所ノ影響ガ非常ニ大デアリノデアリマス、サウ云フ次第デゴザイマスカラ、此不完全ナル設備ト僅ナ資本ニ依リマシテヤッテ居リマスル所ノ弱小工場ガ簇出イタシマスルト云フコトハ從テ此製品ノ絲價ニ非常ナ影響ヲ及ボシマスノデ斯ウ云フコトニ付キマシテ、出來ルダケ、此點ニ付テ統制ヲ圖、テ行キタイト云フコトガ、此度提出イタシマシタ製絲業法ノ根本趣旨デアルノデゴザイマス、此法律ハ製絲業ノ現狀ニ即シマシテ、其弊ヲ矯メ、斯業ノ改善ト統制ヲ期シマスル爲ニ製絲業經營ニ一定ノ基準ヲ與ヘテ將來ニ於キマスル不健全ナル企業ノ濫設ヲ阻止スルト云フコトガ、第一點デゴザイマス、次ニ既存ノ製絲工場ハ現在ノ儘、其存續ヲ認メマシテ、漸次是ガ企業ノ合同、共同施設ノ施行等ヲ奨メマシテサウシテ此小規模ノ工場ヲ整理イタシマスト云フコト

ガ第二點デアリマス、第三點ト致シマシテ

ハ、製絲業ハ主務大臣及地方長官ノ監督取

締ノ下ニ之ヲ經營イタサシメマスルト云フ

コトガ第三點ゴザイマス、次ニ更ニ此製

絲業ノ統制ニ關シマシテ、當業者ノ自治的

方法ニ依リマシテ十分ナル效果ヲ期シ得ナ

イト云フヤウナ非常時ニ於キマスル所ノ場

合ニ於キマシテハ、之ニ對シマシテ、政府

ニ於キマシテ統制ヲ命ジ得ル權限ヲ留保ス

ルコトヲ骨子ト致シテ居リマスル次第デゴ

ザイマス、是ガ實現ヲ見ルニ至リマスルナ

ラバ斯業ノ革新上ニ於キマシテ相當ノ效果

ヲ期待シ得ルモノト確信イタシテ居リマス

ル次第デゴザイマス、以上述べマシタ點ガ

本案提出ノ理由デゴザイマシテ、本案ニ付

キマシテハ衆議院ニ於キマシテ免許取消ノ

原因及既存製絲業者ノ取扱ノ點ニ付キマシ

テ原案ヲ修正セラレタノデゴザイマス、然

レドモ何レモ本法制定ノ目的ヲ達成イタシ

マスル上ニ於キマシテ多大ナル支障ガ無イ

ト存ジマスノデ、之ニ同意ヲ表シマシタ次第

デゴザイマス、何卒速ニ御審議下サイマシ

テ御可決下サイマスコトヲ御願ヒスル次第

デゴザイマス、私ガ申上ゲマシタノデアリ

マスガ、大臣ガ御出デニナリマシタノデ、

又大臣カラ色々詳シイコトヲ申上ゲルコト

ト存ジマス

○國務大臣(後藤文夫君) 甚ダ恐縮デゴザ

イマシタガ時間ニ遅レマシテ、何ントモ申

譯アリマセヌ、大體本案ノ趣旨ハ局長カラ

申上ゲマシタ次第デゴザイマスカラ、ドウ

ゾ宜シク御審議ノ上御可決アラムコトヲ願

ヒマス

○男爵藤村義朗君 私ハ本案ニ付キマシテ

數項ニ互ッテ御説明ヲ伺ヒタイノデアリマ

ス、御許シテ願ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 許シマス

○男爵藤村義朗君 只今政府委員ノ御説明

ニ依リマシテ、本案ノ目的ハ小製絲小工場

ノ亂立ヲ阻止シソレ等ヲ整理合同セシメ

ル、ソレニ付テ政府ニ於テハ嚴重ニ監督取

締ヲサレル、尙ホ非常時ニ於テハ、統制ヲ

スルト云フ御趣意デアッタヤウニ伺ヒマシ

タ、所デ此法律案ヲ讀ンデ見マスト云フ

ト、政府ハ此製絲業ト云フモノニ對シテ其

企業經營ノ自由ヲ奪ッテ、絶對ニ之ヲ國家ノ

統制ノ下ニ置カウト云フヤウナ御考ノヤウ

デアリマス、少クモサウ云フコトヲ爲シ得

ルト云フコトニナッテ居ル、政府ハ統制ト云

フ美名ノ下ニ、ドシナニデモ此大切ナ製絲

業ヲ左右シ得ラレル、之ヲ興スコトモ、倒

スコトモ、營業ヲ束縛スルコトモナシデモ

出來ルト云フヤウナコトニナッテ居ルノデ

アリマス、私ハ今日ノ國民經濟ノ實情、實

際ニ願ミマシテ、國ガ大局カラ見テ色々ノ

産業ニ對シテ、或程度ノ統制ヲ加ヘルト云

フコトノ必要ハ十分アルト認メテ居リマ

ス、併シ此製絲法ニ示サレテアリマスル通

リニ、其事業ノ總テニ對シテ、國家ガ之ヲ

自由ニ統制シテ、個人ノ企業經營ノ自由ヲ

抑制スルト云フガ如キコトハ、若シ政府ノ

根本方針ガ、國ノ重要産業ヲ何デモカシ

モ此筆法デ統制スルノデアルト云フコトガ

政府ノ根本方針デアリマスナラバ、私ハ聊

カソレニ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、私ガ

改メテ申上ゲル迄モナク、今日マデ色々ノ

議論ハアリマスルケレドモ、兎ニ角日本ノ

社會組織ト云フモノハ、今日ニ於テ資本主

義ヲ以テ基調トシテ居ルノデアリマス、而

シテ其資本主義ハ私有財産ノ制度デアル、

或ハ自分ノ責任ヲ以テ、自分ノ努力ヲ以

テ、自分ノ自由意思ヲ以テ、事ヲ爲シ得

ル、而シテ正當ナル自由競争ノ上ニ立ッテ

居ルノデアリマス、同一事業ノ其企業家或

ハ經營者ガ、自分等ノ自由意思ノ下ニ、自

發的ニ其事業ノ統制ヲスルト云フコトハ、

是ハ誠ニ私ハ結構ナコトデアリマス、ドウ

シテモ總テノ産業ガサウ云フコトニ行カナ

ケレバナラヌト思フノデアリマス、併シ唯

ダ一片ノ政府ノ命令ニ依ッテ其事業ノ總テ

ヲ左右シ得ルト云フガ如キ絶大ナ權力ヲ政

府ニ與ヘルト云フコトハ、餘リニ極端ナ國

家統制主義ノ現ハレデハナイカト云フ風ニ

考ヘマス、其處ニ少シ極端ナ申分デアルカ

ハ知レマセヌケレドモ、斯ウ云フコトガ段

段増長シテ行キマスト云フト、其赴ク所ハ

所謂國家社會主義ト云フコトニナルノデ、

此法案ノ如キハ其國家社會主義ノ實現ヲ多

分ニ含ムダ法律案デハナイカト私ハ思ッテ

居リマス、殊更只今モ政府委員ノ御説明ノ

如ク國家經濟、國民經濟ニ非常ナ影響ヲ及

ボス重要ナ製絲業ヲ統制シヤウト云フノデ

アリマシテ、最モ慎重ニ考慮シナケレバナ

ラス、是ハ實際今日ノ臨時議會ニ現ハレテ

居リマスル時局對策ノ唯一ノ根本政策デア

ラウト私ハ思フノデアリマス、ソレニ付テ

後藤サンハドウ云フ御考デアリマスカ、先

以テ其統制ト云フコトノ根本觀念ニ付テ

伺ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) 藤村男爵ノ御話

ニモアリマシタ通りニ産業ニ或程度ノ統制

ガ必要ヲ感ゼラレテ居ルト云フ風ニ思フノ

デアリマス、併ナガラ此製絲業法案ハ今御

話ノアリマシタヤウナ非常ナ強力ナ統制

ヲ産業ノ全體ニ加ヘルト云フ精神ノ一端ノ
現ハレトシテ製絲業ニ斯ウ云フ法案ノ制定ガ
計畫サレタノデアルト云フ譯デハアリマセ
ヌ、是ハ豫テ製絲業其モノガ同ジ他ノ産業
ノモノト較ベテ非常ニ興廢ノ常ナイ有様デ
アル、是ハ生絲市場ノ好況、不況ノ影響ヲ
受ケテ亂立シ、又亂倒ヲスルト云フヤウナ
弊ガ著シイ爲ニ一面ニハ蠶蠶家ヲ苦シメル
結果ニナリ、一面ニハ絲ノ値ヲ亂高下セシ
メテ、其結果ガ又蠶蠶家ヲ苦シメル、國民
經濟全體ニ影響ヲ及ボスヤウナ痛切ナ事例
ヲ過去ニ於テ屢、見テ居ルノデアリマス、製
絲業ニ一種ノ基準ヲ與ヘテ、之ニ或程度ノ
統制ガ行ハレルト云フコトガ日本ノ蠶業界
ノ安定ヲ圖ル上ニ有力ナ手段ノ一ツデア
ル、斯ウ云フ風ニ考ヘラレテ參テ居、タノ
デアリマス、然ラバ其方法ハドウカト云フ
ト矢張り免許制度ニシテ、是ガ亂立ヲ防ギ、
其亂立ヲ防グト云フ所以ハ又事情ニ應ジテ
バタノト又倒レル者ガ出來ルト云フコト
ヲ防グ所以デアリマス、サウ云フ趣旨ノ統
制ハ蠶業ノ中堅ニ居リマスル製絲業ニ加ヘ
ラレルコトガ已ムヲ得ナイコトデアアル、其
趣旨ヲ以テ此製絲業法ハ立案サレタモノナ
ノデアリマス

○男爵藤村義朗君 只今ノ御説明ニ依リマ
スルト云フト蠶絲業ニ對スル此法案ニ依
テノ統制ヲ行フト云フコトハ先程モ政府委
員カラ説明ガアリマシタ通りニ非常時ニ於
ケル統制デアアル、例ヘバ製絲業法第三條ニ
「主務大臣ハ製絲業者ニ對シ製絲業ノ統制
上必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得」ト云フ
ガ如キコトハ容易ニ政府ノ專斷ヲ以テ行フ
ベキモノデハナイ、非常時ニ際シテ或程度
ノ統制ヲ施スノデアルト云フヤウニ了解イ
タシマシテ宜シウゴザイマセウカ

○國務大臣(後藤文夫君) 左様デゴザイマ
ス、三條ノ統制ト云フモノハサウ不斷ニ大
キナ統制ヲ以テ他ノ條項ガ免許制度ヲ認メ
テ居ルト云フコトノ以外ニ加ヘヤウトスル
ノデアリマセヌ、非常時ニ際シテハ已ム
ヲ得ズ大キナ統制ヲ加ヘルコトモアルカモ
知レマセヌ、不斷ノ場合ニ於テ大キナ統制
ヲ加ヘルト云フコトハ、趣旨トシテ居ル所
デハアリマセヌ

○男爵藤村義朗君 能ク分リマシタ、ソコ
デ此法案ノ第二條、三條、四條、五條、六
條ト云フヤウナモノヲ見マスト云フト、是
等ノ事項ハ總テ主務大臣ガ專行シ得ルト云
フ譯デアリマス、主務大臣ノ省令、命令其
他ノ獨斷專行ニ依ッテ、茲ニ掲ゲテアルヤ
ウナ重要ナコトヲヤリ得ル、主務大臣必

シモ將來長ク後藤サンデアルトモ限ラヌ、
將來トモ後藤閣下ガヤッテ下サルナラバ私
ハ絶大ノ信用ヲ與ヘテ左様ナコトハ申サ
ヌノデアリマス、ガ大臣次第デハ相當惡弊
ノ根源トカ何トカ云フヤウナコトニ認メラ
レ得ルコトヲ爲シ得ルノデアリマス、主務
大臣ノミナラズ、地方長官モ第六條ニ依
テ隨分エライコトヲ爲シ得ルノデアリマ
ス、地方長官其他ノ事務官、必シモ善イコ
トバカリセヌト云フコトハ、今日問題ニ
ナッテ居ル明治製糖會社事件デモ分ッテ居ル
ノデアリマス、又今日政黨ノ淨化ト云フヤ
ウナコトガ言ハレテ居リマスルケレドモ、
マダナカノ相當ノ年月ノ間、本當ニ今日
ノ政黨ヲ淨化スルト云フコトハ出來ナイ、
而シテ政黨大臣ガ出テ來ルト云フト何ヲス
ルカ分ラヌ、私ハサウ云フ杞憂ヲ持ッテ居ル、
ソコデ是等ノ事項ヲ唯單ニ主務大臣或ハ地
方長官ノ專行ニ委セルト云フコトハ如何ナ
モノデアラウカト思フ、今日民間ニハ蠶絲
業ニ付テハ相當ノ代表機關ガ蠶絲組合法ニ
依ッテ出來テ居ルノデアリマス、是等ノ命令
ノ重要事項デ必要ナリト考ヘラレルコトヲ
政府ガ命令ニ依ッテ規定サレマス前ニ、是
等ノ代表機關ニ御諮問ニナッテ、民間ノ意
見ヲモ徵スルト云フヤウナ御意思デアリマ

スルカ、或ハモウ施行規則ニ依ッテ何デモ
カンデモヤッテシマフノダト云フヤウナ御
意見デアアルカ、其邊ノ所ヲ先ヅ明カニ御示
シテ願ヒタイト思フ

○國務大臣(後藤文夫君) 製絲業法ヲ是マ
デ講究イタシマスニ付テモ、先ニ蠶絲業ニ
關係ノ中心機關デアッタ同業組合ノ中央會
ニ意見ヲ聞イタコトガゴザイマス、ソレ等
ヲモ色々茲ニ參考ニ致シテ參ッタノデアリ
マス、製絲業ニ命令ヲ以テ定メル大體ノ基
準希望ト云フヤウナモノハ、凡ソ今日腹案
ヲ得テ居ルノデアリマス、色々今後事情ノ
變化ニ應ジテ考慮スベキコトガ生ジテ來ヤ
ウカト思ハレマスカラ、蠶絲業界ノ中樞ノ
權威アル機關ニハ、其折々ニ於テ意嚮ヲ求
メマシテ、十分ナ參考ニ供シタイト考ヘテ
居ル次第デアリマス

○男爵藤村義朗君 ソコデ伺ヒタイノハ此
蠶絲業法ト云フモノヲドウシテ斯ウ云フ風
ニ急遽、此臨時議會ニ御提案ニナッタノデ
アリマスルカ、此法案ヲ讀ンデ見マスト云
フト、臨時議會ニ提案シナケレバナラヌホ
ド急ヲ要スルモノデモナイ、其效力ハ十年
以後ニ發生スルトカ云フヤウナ規定デア
ル、シマスト云フト斯ノ如キ法案ハ通常
議會ニ御提案ニナッテ、十分ニ議ヲ練ルト云

フコトノ方ガ宜カッタノデハアルマイカト云フヤウニ考ヘマス、ノミナラズ、此案ヲ御提出ニ相成ルニ當テ、只今ノ御話ノ如キ民間ノ中央…代表機關ニハ何等御諮リガナカッタノデアリマス、承ハル所ニ依ルト唯内示ヲサレタト云フヤウナコトヲ承

央會ノ動機トニ於テ違テ居ルノデアリマス、一應ハ今日ノ蠶絲會ニ御諮問ニナッテ然ルベシデハナイカト思フノデアリマス、何故斯ウ急ニ御出シニナリマシタカ、其邊ヲドウカ

○國務大臣(後藤丈夫君) 此臨時議會ニ之

ハッテ居ルノデアル、實ハ私共ハ是等ノ民間機關ニ依ッテ十分此議ヲ練ッテ、製絲業各團體ノ意嚮ヲ綜合シテ、其答申ヲ待ッテ御考慮ヲ願ッタ方ガ宜カッタノデハナイカト思ッテ居リマス、急ヲ要スル問題デハナイノニ、中央蠶絲會ノ諮問ヲモ經ズシテ之ヲ御出シニナッタ理由ガドウモ分ラヌノデ只今チヨツト大臣カラ、前ニアッタ…蠶絲同業組合中央會ノ提案モアッタカラト云フヤウナ御話デアッタヤウデアリマス、其當時ノ實情ニ願ミマスルト云フト、中央會ノ提案ト云ヒマスカ、陳情ト申シマスカ、決議ト申シマスカハ、ドウモ其動機ニ於テ餘リ面白クナカッタ私ハ思ヒマス、而シテ政府ノ此製絲業法ヲ御提出ニナッタ御趣旨ハ、全クサウ云フ風ナ中央會ナドガ政府ニ陳情ヲシタ動機ニ出デタモノデハナイ、眞ニ製絲業ノ…蠶絲業ノ統制發達ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ御趣旨カラ出タモノト、是ハモウ私ハ確信シテ居ルノデス、政府ノ動機ト申

ヲ提案シマシタノハ、成ルベク此制度ヲ布クコトガ宜イデアラウト思ッタノデアリマス、現在アルモノヲ直チニドウシヤウトハ致スノデハアリマセヌガ、將來起ルモノニ付テ早クヤッタ方ガ宜シイト考ヘタノデアリマス、其早クヤッタ方ガ宜シイト考ヘマシタノハ、チヨツト考ヘマスルト矛盾スルヤウナ二ツノ動機カラ來テ居ル、一ツハ蠶絲業界ガ御承知ノ通り、昨今ハ絲ノ値段ガ非常ニ上ガリマシテ、好況ニ向ッテ居リマスケレドモ、前ノ臨時議會ノ時ニハ不況ノ底ニ居リマシテ、將來ドウ云フ風ニ好轉スルカト云フコトガ知リニクイヤウナ時デアリマシタ、斯ウ云フ時デアレバ免許制度ヲ布クコトニ依ッテ今迄ニ計畫ヲシテ居ルモノガ非常ニ澤山アッタ、其計畫ヲ直チニ頓挫サシテシマフト云フヤウナ心配ガナイデアラウ、却テ制度ヲ布クニヤリ易イ時デアラウト考ヘマシタノガ一ツ、他ノ一ツハ寧ろ反對ノ推測カラデアリマス、若シ將來

此事業ガ好轉スルト云フコトガアルト又過去ノヤウナ亂立シテ續々ト興リヤシナイカ…サウ云フコトヲ防グコトヲ早クヤッテ置ク方ガ宜イデヤナイカト考ヘテ居リマスル中ニ、其懸念ガ臨時議會ノ近付クト共ニ實現スルデナイカト云フヤウナ狀況ニナツタ、旁、此法案ガ既ニ相當ニ今日迄考究モサレ、準備モサレ、世論ニモ上ボッテ來テ居リマス、多クノ意嚮ガ免許制度ヲ布ク方ガ宜カラウト云フコトニナッテ居リマス、當局ニ於テモ相當確信ノアル準備ガ出來マシタト云フコトカラ此法案ヲ臨時議會ニ提出スルヤウニ至ッタノデアリマス、只今御話ノ蠶絲業界全般ヲ通ジテノ意嚮ヲ知ルコトノ出來ル中樞ノ機關等ノ御意嚮モ過去カラノ同業組合邊リニ諮問イタシマシタヤウナ場合カラ、引續イテ當局ニ於テハソノ意嚮ノアル所ヲ略、知リ得テ居リマス故ニ此際ニ特ニサウ云フ手續ヲ探ラズトモ意嚮ハ大體一致セラレテ居ルコトト承知シマシテ、此法案ヲ此議會ニ出スヤウニ致シタ譯デアリマス

サナ工場ガ閉鎖サレルガ爲ニ養蠶業者ハ繭ノ處理ニ付テ非常ナ不利不便ヲ受ケルデアラウト云フヤウナ懸念カラシテ來テ居ル反對ノヤウニ思ハレマス、私ハ或ハソレ等ノ人ニハ此製絲業法ノ本當ノ眞意ヲドウモ誤解シテ居ラレヤシナイカ、能ク説明シマシタナラバ分ルグラウト思ヒマス、兎ニ角サウ云フ風ナ反對ガアルノデアリマス、實ハ養蠶業者方面モ能ク了解サセテ後ニ御提案ヲ願ッタ方宜カラウト思ヒマス、何モ私ハ絶對ニ之ニ反對スルト云フ譯デハナイ、サウ云フヤウナ意嚮モ隨分アルノデアリマスカラ、少シク早過ギタノデハナカッタカト云フヤウナ感ジヲ致シタノデアリマス、其處デ尙ホ伺ヒタイノハ、此第二條ノ免許制度ノコトデスガ、承ハレバ此免許ノ基準ハ政府ニ於カレマシテハ營業製絲ノ方ハ百五十釜以上、組合製絲ハ百釜以上ト云フ風ニ定メテ御出デニナルヤウデアリマス、斯様ニ基準ヲ御定メニナッタノハドウ云フ所カラ出テ居リマスルカ、ソレヲドウゾ政府委員カラ伺ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 藤村君、大臣

ニマダアリマスカ、大臣ハ負債整理組合法案ガ今本會ニ上程ニナルノデ大臣ノ説明ヲ待ッテ居ルノデス

○男爵藤村義朗君 モウ宜シイデス、後デ又……

○政府委員(入江魁君) 私カラ御答へ申上ゲマス、免許ノ標準ト致シマシテ主モニ考へマシタコトハ、生絲ノ製産能力ト云フ問題ヲ考へタノデアリマス、其能力ヲ計リマスル上ニ於キマシテハ、現在ノ所デハ釜數ヲ以テ押ヘルヨリ外ナイト云フコトニ相成リマシテ、大體營業製絲ヲ百五十、組合製絲ヲ百釜ト致シタル理由ハ、第一ニ此生絲十釜ト致シマシタル理由ハ、第一ニ此生絲工場ノ經營ヲ致シマスル上ニ於キマシテ最モ合理的ニ經營ヲスルト云フコトヲ考へマスト、大體ニ於キマシテ相當ノ組織ヲ有シ、資本ヲ有スルモノデナケレバナラナイト云フコトガ過去ノ色ミナ例ニ於キマシテ明カナ状態ニナツテ居リマスノデ、大體其上カラ考へマシテモ百五十ト云フコトガ必要デナカラウカト云フコトハ從來ノ例ヲ見テ見マスルト、休業イタシマシタリ、廢業ヲ致シマシタリ、新設イタシマシタリ、復業イタシマシタリスルモノノ統計ヲ取ツテ見マスルノニ、最近ノ例ヲ申上ゲマスルト、昭和六年ノ如キニ於キマシテハ百五十釜以下ノ工場ニ於キマシテ休業、廢業イタシマスルモノガ百七十六ノ工場ガアルノデアリマ

ス、ソレカラ百五十釜以上ノ工場ニナリマスルト大體極ク僅ニナリマシテ、十七ト云フヤウナ僅ナ數ニナツテ參リマスト云フ譯デ、又此新設ト云フ點カラ見テ見マスルト、百五十釜以下ノ工場ニ於キマシテ昭和六年ニ於キマシテハ百四十四、ソレカラ百五十釜以上ニナリマスルト僅ニ九ト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ今マデ休ンデ居リマシタモノガ復業ヲスルト云フヤウナモノハドウ云フ風ナ狀況ニナツテ居ルカト申シマスト、復業ノ状態デハ昭和六年ニ於キマシテハ百五十釜以下ニ於キマシテハ三十九、百五十釜以上ニナリマスト僅ニ三、斯ウ云フヤウナコトデ起伏常ナイト云フ所ノモノガ百五十釜以下ニ多イト云フコトガ統計ノ上カラ見マシテモ明カナヤウニナツテ居リマス、サウ云フ點カラ考へマシテ景氣ノ好イ時ニハ興ル、景氣ガ悪クナレバ廢メ、其結果ト致シマシテ養蠶家ニ對シマシテ繭ノ賣掛代金ト云フヤウナモノニ對シマシテ支拂ヲ忘ル、斯ウ云フヤウナコトガ非常ニ頻繁ト致シテ居リマスル状態デアリマス、サウ云フヤウナ點カラ考へテ見マスルナラバ、矢張り一定ノ釜數ヲ有シマシテ、一定ノ設備ヲ有スルモノ、ソレニ相當ノ資本ヲ持ツテ居ルト云フコトガ矢張り必要デ

ヤナカラウカ、斯ウ云フ風ニ概シテ考へタノデゴザイマス、第二ニ考へマシタルコトハ、主トシテ茲ニ第一條デテ機械製絲ヲ爲スト云フコトニ付テ此免許制度ヲ施行イタシテ居リマスル關係カラ致シマシテ、此機械製絲工場ノ主モナル製品ト云フモノハ、大體ニ於キマシテ亞米利加ニ參リマスルモノデアリマス、亞米利加ニ參リマスル關係カラ致シマシテ、横濱、神戸ニ於キマスル檢査所ニ於キマシテ、檢査ヲ受ケル、其檢査ヲ受ケマスル時ニ當リマシテ、其製品ノ檢査ヲ致シマスルニ當リマシテ、是モ最近調ベマシタ所ノ統計ニ依リマスルト云フト、釜數ノ少イ工場ノ製品ト云フモノガドウシテモ此不合格歩合ガ多イ、合格シナイト云フ状態ニ達シテ居ルノデアリマス、尙又此輸出イタシマスルニハ先程申上ゲマシタヤウニ單位ガ千斤トナツテ居ルノデアリマス、從テ大體現在ノ状態ニ於キマスル一釜ノ能力ト云フモノハ一日百三十匁カラ百三十五匁平均ニナツテ居リマス、是ハ即チ一荷口ト申シテ居リマスルノデスガ、一荷口千斤ト云フモノヲ造リマスルニ當リマシテ、大體月ニ三回、三千斤ツツ工場ガ生産イタシマスルモノニ關シテハドウ位ノ釜數ガ宜イカト申シマスト、今申上ゲマシタヤ

ウニ百五十ノ釜デ經營イタシマスルト月ニ三回、年ニ三十六回ト云フモノヲ販賣スル、斯ウ云フ風ナ意味カラ行キマシテ、小サナ工場ニナリマスルト輸出イタシマスル時ニ當リマシテ荷口ガ捕ハナイト云フコトノ爲ニ、製品ガ不揃デアルト云フコトノ爲ニ、非常ナ不利益ヲ招クト云フ點ガ多イノデゴザイマス、サウ云フヤウナ關係カラ致シマシテ實急ギヲスルトカ、或ハ内地ニ亂賣スルト云フヤウナ形ニナツテ參リマシテ、要スルニ此經營ノ上ニ於キマシテ非常ナ支障ヲ來シ、從テ此興廢起伏ト云フモノガ常ナイト云フ状態ニナツテ居リマスノデ、出來マストラバ是カラ出來マスル所ノモノハ是非此規格ニ則リマシテ、堅實ナ經營ヲスルモノニシテ、サウシテ延イテハ養蠶家ノ命脈ヲ保ツヤウニシタイ、斯ウ云フヤウナコトニ大體趣旨ヲ置キマシテ、茲ニ此免許制度ヲ探ルト云フヤウナ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、尙ホ茲ニ御尋デハナカッタノデアリマスルガ、申上ゲテ置キタイト思ヒマスルトハ、第二條ニ於キマシテハ此釜數以外ニ於キマシテ、資本ト云フコトニ付キマシテ相當考へテ居ル積リデアリマス、其前ニ組合製絲ノコトヲチョツト申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、組合製絲ノ方ヲ百釜ト致シマス

ルノハドウ云フ譯デアアルカ、營業製絲ノ方
 ハ百五十釜ニ致シマシテ、組合製絲ノ方ヲ
 百釜ト致シテ區別ヲ致シマシタノハ、御承
 知ノ如ク組合製絲ナルモノハ産業組合法ニ
 依リマシテ成立テ居マス、其關係カラ致
 シマシテ、組合員ノ供給イタシマスル繭以外
 ニハ他ノ方面カラ原料タル繭ノ購入ガ出来
 ナイデゴザイマス、サウ云フ實情ニ則リマ
 シテ、寧ロ農村ノ事情、各事情、特別ナ事
 情ニ依リマシテ、是ハ營業製絲ノ方面ノ百
 五十ヨリモ多少差別ヲ付ケテ宜イノデハナ
 カラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ百釜ト
 云フ風ニ致シタノデゴザイマス、デ今申上
 ガマシタヤウニ之ニ加ヘマスルノニ、此資
 本ト云フ方面ニ於テ考ヘテ見タイト思ッテ
 居ルノデアリマスガ、併ナガラ此資本ノ方
 面ニ於キマシテハ然ラバ之ヲ何十倍ニスル
 ト云フコトヲ施行細則ニ書ク譯ニ行キマセ
 スノデ、唯此百五十釜ヲ經營イタシマスル
 ニハ大體二十五方圓乃至三十方圓位掛カル
 ト考ヘテ居リマス、サウシテ其中デ固定設
 備ト致シマシテ大體ニ於キマシテ十二三万
 圓カラ十四五方圓位ノ額デハナカラウカ、
 其他流動資本ト致シマシテ大體失張り十二
 三万圓ノモノヲ持ッテ居ナケレバナラヌ、
 斯ウ云フコトニ付キマシテ相當此資本ヲ有

シマスルト云フコトガ、此工場經營ニ最モ
 必要デヤナカラウカ、何故ナラバ今迄此工
 場ガ倒レタリ何カ致シマスルト云フコトハ
 景氣ノ好イ時ニ高イ利率ノ金ヲ借りマシテ、
 サウシテ工場ヲ固定設備ニ變ヘル、其結
 果ト致シマシテ、一度値段ガ下リマスルト
 云フト、爲ニ工場組織ノ經營ノ上ニ於キマ
 シテ非常ナ蹉跌ヲ來ス、斯ウ云フコトニナ
 テ居ルノデヤナカラウカト存ジマスノデ、
 サウ云フ資本ノ點ニ付キマシテモ相當ノ資
 本ヲ有スル必要ガアルノデヤナカラウカ、
 斯ウ考ヘマシテ、大體ニ於キマシテ此第二
 條ノ命令ニ於キマシテハサウ云フ點ヲ掲ゲ
 タイト存ジテ居ル次第デゴザイマス

○男爵藤村義朗 政府委員ノ詳細ノ御説
 明ハ能ク拜承イタシマシタ、御話ニ依ルト
 云フト詰リ小工場ハ亂立ノ弊ガアッテ興廢
 常ナラヌ、資力不足デアアル、營業ノ基礎ガ
 不堅實デアアル、或ハ賣急ギ等ノ弊害モアル、
 機械製絲デアアルカラ輸出品デアアル爲ニ検査
 ノ品ガ不揃デアアル、ト云フヤウナ點カラ考慮
 サレテ、詰リ相當資本ヲ持ッテ工場ガ良イノ
 デアル、ソレニハ釜數ヲ以テ押ヘルヨリ外
 ハナイト云フ所カラ、是等ヲ御考慮ニナッテ
 百五十ト云フ基準ヲ立テラレタヤウデアリ
 マス、誠ニ色ニ御尤ノ點モアルシ、又御尤

ニ聞エル點モアルノデアリマスガ、小工場
 必シモ設備ガ小サ過ギル、不十分デアアルト
 ハ申セスト思ヒマス、又必シモ經營ノ基礎
 ガ不堅實デアアルトモ考ヘラレナイ、事實ニ
 於キマシテハ百釜以下ノ工場デモ、小サイ
 工場ハ小サイ工場ナリニ基礎モ堅實デアリ
 經營モシツカリシテ居ルト云フヤウナ所ガ
 相當ニアアル、現ニ農林省デ御調べニナリマ
 シタ製絲工場ノ實體調査ヲ拜見シマシテモ、
 小工場必シモ大工場ニハ譲ラヌノデアリ
 マス、一體ニ成績ハ大規模ノ工場ニ比ベテ
 寧ロ勝ッテ居リヤセヌカト云フヤウナ事實
 モアルヤウニ承知イタシテ居リマス、無論
 亂立ト云フコトハ宜イコトデハアリマセ
 ス、併ナガラ其弊害ハ小工場ニ限ラコト
 デハナイ、大工場モ又亂立ノ弊害ガアル、
 デアリマスルカラ今日マデモ事實ニ於テ小
 工場ガ興廢常ナラヌ、頻繁デアアル、ソレハ
 サウデセウ數ガ多イノデアアルカラ頻繁ニ見
 エル、其理由ノ下ニ小サナ工場ノ經營ハ絶
 對ニイケナイト云フヤウナコトハ、少々小
 工場ニ取リマシテハ過酷ノ御批判デハナイ
 カト私ハ思フ、大工場ニシマシテモ、小工
 場ニ致シマシテモ結局其經營ノ善シ惡シハ
 釜數ノ多イ少イトカ、資本ノ大小トカ、高
 ガドウカト云フヤウナコトデハナク、或ハ

規模ノ大小ニ依ルト云フコトデハナク、詰
 リ經營者ガ善イトカ惡イトカト云フ私ハ問
 題デハナイカト思フ、小サナ工場ハドンド
 ン潰レタリ立ッカリシテ參リマス、併ナガラ
 大キナ工場ハ今日マデ潰レ掛カッタ工場ハ
 隨分アル、又既ニ今日マデ潰レタ工場ハ「山
 十」トカ何トカ云フ工場始メ相當ニアアルノ
 デアリマス、併ナガラ大體ニ於テ大工場ハ
 經營者或ハ資本家ハサウ云フ時ニナルト云
 フト直グニ政府ニ縋ッテ色々ノ補償ヲシテ
 貰ッたり法律ヲ出シテ貰ッたりシテ潰レヌヤ
 ウニスル、小工場ノ方ハ政府ガサウ云フコ
 トハシテ下サラヌ、顧ミラレナイカラ自然
 淘汰ニ依ッテ潰シタリスル、ドウモ其蠶絲
 業ノ、蠶絲業界ノ全般ニ累ヒテ及ボシテ居
 ルノハ寧ロ私ハ小サナ工場ヨリハ大キナ工
 場ニアリハシナイカト思ッテ居ル、今日マデ
 ノ蠶絲業、製絲業者ノ發達ニ顧ミテ見マス
 ルノニ小工場ノ發達ト云フコトガ大ニ興
 テ力ガアッタノデス、若シ今日小サナ工場ヲ
 十年間ニ整理ガ出来ナクテ、潰シテシマフ
 ト云ヘバ、極端ノ何デハアリマスルケレド
 モ、サウ云フコトニナルト全國ノ生絲ノ産出
 高ノ三分ノ一位ハ潰レテシマフト云フコト
 ニナル、尤モ是ハ衆議院デ以テ修正サレタ
 ノデアリマスガ、今日現存ノ工場ハ是ハ二

年間デアリマスガ、廢業シテ居ラヌ限り存

續ヲ許サレルノデアリマスガ、此方ハ無ク

ナルカモ知レマセヌガ……兎モ角政府ノ原

案ニ依レバサウ云フ可能性モアルノデアリ

マス、此事ハマア餘ホド私共ハ考ヘテ見ナ

ケレバナラヌコトデアッテ、ドウモ政府ハ小

サナ工場ノ弊害バカリ御認メニナッテ、利益

ノアル點ヲ御認メニナラナイ、例ヘバ小サ

ナ工場ガ各地ニ散在シテ居ルト云フコトガ

養蠶業者ノ爲ニ非常ナ便利デアアル、又其爲

ニ色ミノ損モアリマセウケレドモ大體ニ於

テ利益スル所ガ多イヤウデアリマス、ソ

ナ風ナ利益ハ御認メニナラヌ、又大工場ノ

方ハ其利益ノミヲ御認メニナッテ弊害ガ相

當ニアルト云フコトハ全ク御認メニナッテ

居ラヌト云フヤウニ思ハレルノデアリマ

ス、大體御話ノ通りニ大小工場トモニ平素

ノ經營方法ニ對シテ政府ガ相當ノ監督御取

締ヲ御加ヘニナリマシタナラバ、サウシテ

同時ニ當業者諸氏ガ、當業者同志ノ協力共

同ニ依ッテ統制ヲ圖ッテ行キマシタナラバ

數デ制限スルト云フヤウナコトガナクテモ

宜クハアルマイカト云フヤウニ思フノデ

アリマス、ソレカラ尙ホ此釜數デ決メルト

云フコトモ同ジ一釜デアッテモ、私ハ能ク

知ラヌノデスケレドモ、同ジ一釜デアッテ

モ生絲生産能力ニ多大ノ懸隔ガアル、例ヘ

バ或釜ハ二口三口シカ線レナイノモアリマ

スガ、今日マデ改良セラレタ釜デハ二十モ

三十口モ繰レルヤウナコトガアルサウデア

リマス、サウスルト釜數ダケデ基準ヲ決メ

ルト云フ譯ニモ行キマスマイ、或ハ寧ロソ

レヨリハ生絲ノ生産高デ基準ヲ決メタ方ガ

宜クハナイカト思フノデアリマス、又政府

委員ガ力説サレマシタ資本關係カラ見マシ

テモ其固定資本デアルトカ、或ハ購買入ノ

流動資本ノ内容ニ付テモ色ミノ差別ガア

ル、斯ウ云フコトヲ無論考慮シナケレバナ

リマスマイシ、或ハ若シ釜數ダケヲ免許ノ

基準トスル、實質上内容ガ極メテ貧弱ナル

製絲工場モ形式的ノ免許ノ限度ニ達シテ居

ル、或ハ免許ノ限度マデ釜數ヲ増設スルコ

トガ出來ルト云フヤウナコトモ爲シ得ルノ

デアアル、私ハ別ニ免許制度ヲ絶對反對ト云

フコトハナイノデアアル、ケレドモ、此基準

ヲ定メルニ付テソコニ餘程慎重ナ考慮ヲ加

ヘナケレバナナルマイカト思フ、尙ホソレ等

ノ點ニ付キマシテ今一應政府委員ノ意見ヲ

伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(入江製君) 只今藤村男爵ノ御

述ベニナリマシタ如ク私共モ決シテ此全體

ノ總テノ小サナ工場ガ惡イト云フコトハ全

ク申上ゲラレナイ、今男爵ノ御述ベニナッ

通りデハナカラウカト私モ存ズルノデアリ

マス、唯此當局ト致シマシテ調べマスルニ

當リマシテ是ハ甚ダクドイヤウデゴザイマ

スガ、併シ釜數ハ、大工場ノ問題ヲ申上ゲ

テ置キタイト存ジマスルノハ、今此製絲工業ト

申シマスルモノニ從事イタシテ居リマスル

モノハ約六万五千ノ多キニ上ッテ居ルノデ

ゴザイマス、其中デ大體輸出イタシマスル

生絲ヲ造リマスル機械生絲ト云ッテ居リマ

スルモノデアリマスガ、此機械生絲ノモノ

ハ僅ニ其中デ三千六百八十七ト云フ風ナ數

ニナッテ居リマス、他ノモノハ大體是ハ玉絲

工場トカ、座繰トカ申シテ居リマシテ、製

品ノ上カラ行キマシテモ違ッテ居リマス、先

ヅ斯ウ云フ風ナモノニ於キマシテハ主トシ

テ内地ノ方ノ方面ニ使ヒマスル織物ニ使ヒ

マスル製品ヲ製造スル斯ウ云フコトニナッ

テ居リマス、大體此基準ト致シマシタ關係

ハ何ガ故デアアルカト申シマス、日本デ生

産イタサレマスル生絲ノ全體ガ七十三万俵、

其七十三万俵ノ中デ外國ニ五十六万俵當リ

ハ出テ居ルノデアリマスガ、五十六万俵ノ生絲

ヲ製造イタシテ居リマスルモノガ、六万五千有

餘ノ中デ三千六百八十七ノ此機械絲工場ガ

造ッテ居ル、其機械絲工場ノ中デモ、先程申上

ゲマシタヤウニ現在ニ於キマシテハ藤村男

爵ノ御述ベニナリマシタヤウニ百五十釜以

上ノ絲ト云フモノハ僅ニ五百四五十シカナ

イノデアリマス、後ハ總テ百五十釜以下ニ

ナッテ居リマス、殊ニ此十釜トカ二十釜ト云

フヤウナ工場ガ非常ニ多イノデゴザイマス、

今男爵ノ御述ベニナリマシタヤウニ其工場

ノ良イ惡イト云フコトニ付キマシテハ、勿

論此場所ニ依リマシテ或ハ經營者ノ如何ニ

依リマシテ必シモ大キナ工場ガ良イト云フ

譯デハナイノデゴザイマス、唯此今マデノ

當局ノ調べタ所ニ依リマス云フト、今マ

デノ經驗カラ行キマスルト大體百五十カラ

三百釜程度ノモノガ合理的ナ組織ガ出來

ル、斯ウ云フ風ナコトガ色ミナ各方面カラ

推定ガ出來マスノデ、其點カラ考ヘマシテ、

殊ニ現在ニ於キマシテ此生産ト云フモノト

製造工場ノ製造能力ト云フモノヲ考ヘテ見

マスルト、多少只今ノ所デハ過剰デハナカ

ラウカトモ考ヘルノデアリマス、サウ云フ

風ナ點カラ考ヘマシテ、成ルベクナラバ現

在ヲ押ヘマシテ、將來出來マスルモノニ於

キマシテハ合理的ナモノニシテ押ヘテ行キ

タイ、ソレガ今私ガ申上ゲマスルニ當リマ

シテ、大體百五十カラ三百、三百五十位マ

デノ間ノモノガ合理的デハナカラウカト斯

ウ云フ風ニ考ヘマシテ、新設イタサレマスルモノニ於キマシテハ百五十以上、斯ウ云フヤウナ基準ヲ取ル方ガ至當デハナカラウカト斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ次第デゴザイマス、尙ノミナラズ、現在アリマスル其小サナ工場ヲ然ラバドウスルカト云フコトニナリマスルト、此點ニ付キマシテハ、實ハ當局ト致シマシテハ出來マスルダケ此現在アリマスル工場ニ對シマシテハ整理合同ヲ一方ニ於テ獎勵イタシマス、尙ノミナラズ、整理合同ガ出來マセヌモノニ於キマシテハ、共同施設ヲ致サセマシテ、例ヘバ共同販賣所ヲ設ケルトカ、或ハ共同檢定所ヲ設ケマスルトカ、或ハ共同荷作所ヲ設ケマストカ、或ハ共同揚返ト云テ仕上ナドヲヤリマスモノデアリマスガ、サウ云フ風ナモノヲ共同シテヤラセル、斯ウ云フ風ナ設備ヲ致シタモノニ對シマシテハ獎勵金ヲ……補助金ヲ出シマシテ、サウシテ成ルベク製絲業ノ經營ト云フモノヲ合理化シテ行カウト斯ウ考ヘテ居リマシテ、實ハ前ノ臨時議會ニ於キマシテ御協賛ヲ得テ居リマシテ共同施設ノ費用ト云フコトニ付キマシテハ、既ニ御協賛ヲ得テ居ル次第デゴザイマシテ、今之ニ對シテ實行シツアル次第デアルノデゴザイマス、デ出來ルダケ實ハ現在

ノ工場ト云フモノハ施設經營ノ上カラ云テ改善ヲセシメテ行キタイ、斯ウ云フ風ナ趣旨カラ出マシテ、將來ニ置キマスルモノニ對シマシテハ相當ニ其合理的經營ガ出來ルモノノミヲ許シテ行キタイ、斯ウ云フ根本ノ實ハ茲ニ趣旨ガアルノデゴザイマス、從テ男爵ノ御述ベニナリマシタヤウニ、大必シモ良クハナク、小、必シモ惡イト云フノデハゴザイマセヌ、唯、今申上ガマシタヤウニ、大體ノ調カラ申シマスルト、是モ私共ハ實ハ昭和四年、五年ニ當リマシテ實體調査ヲヤッタコトガアルノデゴザイマシガ、是ハ實ハ工場ノ數ガ非常ニ少クナッテ居リマスノデ、何トモ申上ガ兼ネルノデアリマスガ、當時昭和四年ニ於キマシテハ、二百八十二ノ工場ニ付キマシテ調ベテ見タコトガアルノデアリマス、其中デ大體申シマス、百餘未滿ノ工場ニ於キマシテ調ベタ工場ガ百十九ト云フ工場ヲ調ベテ見タノデアリマスガ、其中デ損益ノ工場ノ割合ヲ調ベテ見マス、利益ノ工場數ガ七ト云フコトニナッテ居リマシテ、不利益ニナッテ居リマスノガ百十二ト云フ風ニナッテ居ルノデアリマス、百五十以下ニナリマスルト、是ドウ云フ風ニナッテ居ルカト申シマス、是モ百餘以上、百五十マデノ間ヲ調ベテ見マ

スト、六十二ノ工場ニ付テ調ベルト、五ノ工場ガ利益デアリマシテ、五十七ガ損ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、是ハ大體ノ、唯其調ベタ數ガ偶、斯ウ云フ工場ヲ調ベタト云フコトカモ存ジマセヌノデ、唯是ハ御參考マデニ申上ガマスル譯デゴザイマスガ、調ベタ工場數ガ僅カ二百八十二、昭和五年ニ於キマシテハ三百六十七ノ工場ヲ調ベテ居リマスガ、矢張りソナ風ナ割合ニナッテ居ルノデゴザイマス、勿論相當良イ工場モアルト云フコトハ私共モ認メテ居ル次第デゴザイマスガ、サウ云フ風ナ點カラ考ヘマスルナラバ、矢張り將來置キマスルモノニ於キマシテハ相當基準ヲ設ケル必要ガアルノデヤナカラウカ、今男爵ノ御心配ニナリマシタヤウニ、寧ロ大工場ガ養蠶家ナシカニ對シテ非常ニ惡イ點ガアリハシナイカト云フコトガアルノデアリマスガ、中ニハサウ云フ工場ガアルノデアラウト考ヘテ居リマス、從テ此第六條等ニ於キマシテ規定ヲ置キマシテ、主務大臣又ハ地方長官ハ必要ト認メマスル場合ニハ其工場ノ取締等ヲ爲シ得ル權限ガ與ヘラレテ居リマスノデ、今日デハ唯亂雜ニ其儘ニシテ置イタト云フヤウナ點カラ申シマシテ非常ニ色ミナ點ニ付テ弊害ガアッタノデハナカラウカ、斯ウ

考ヘマスノデ、斯ウ云フ風ナ點ニ付テモ出來ルダケ取締ヲシテ行キタイ、申シマスルナラバ、一方ニ免許制度ヲ布キマシテ、一方ニ現狀ノ改良ヲ圖ツテ行キタイト云フコトガ此根本ノ趣旨デアアルノデアリマス、尙又モウ一ツ釜數ノ問題デ男爵カラ御話ガゴザイマシタガ、現在ニ於キマシテハ釜數ト云フモノガ段々改良サレテ參リマシテ、今御話ノ如ク多條線ト云フヤウナモノニナリマスルト、普通ノ釜ヨリモ餘計生産サレルト云フモノガ出テ來テ居ルコトハ事實デゴザイマス、サウ云フ點カラ申シマス、基準ヲ何處ニ置クベキカト申シマスルナラバ、實際ニ申シマス、此生産能力ト云フコトデヘルト云フ方ガ一番宜イノデゴザイマス、唯此生産能力ト云フモノヲ押ヘマスノデアリマスガ、現在ニ於キマシテハドウシテモ矢張り釜ト云フモノモ何カ一ツノ基準ガアリマセヌト、取締ノ上カラ總テノ上カラ行キマシテ非常ニ不便ニ感ジマスルノデ、現狀ニ於キマシテハ大體一釜ト云フ釜數デ押ヘテ參リタイ、斯ウ云フ次第デアアルノデゴザイマシテ、從テ實ハ此立法ヲ致シマスルニ當リマシテ、案ヲ作りマス此時ニ當リマシテ、斯ウ云フ風ナモノハ或ハ立法事項デハナカラウカト斯ウ云フ風ナ色ミ私共ノ方

ニ議論ガアツタノデゴザイマスガ、今此點ニ付キマシテハ色々經濟上ノ變動、或ハ又今製絲器械ノ優秀ナモノガ出來テ參リマスルト云フト、之ヲ法律的ニ決メテ置キマスルト、其爲ニ色々不便ヲ來スヤウナ場合ガアル、斯ウ云フコトカラ寧ロ是ハ施行細則ニ讓リマシテ、時ノ情勢ニ從テ適當ニ之ヲ爲ス方ガ至當デハナイカト斯ウ考ヘタ次第デトゴザマス

○男爵藤村義朗君 大變獨リデ時間ヲ取りマシテ恐縮デスガ、モウ一點チヨット伺フテ見タイト思ヒマス、只今ノ政府委員ノ御説明ハ能ク了承イタシマシタ、御趣意モ分リマシタ、其中ノ唯、一點共同施設ト云フコトニ重キヲ置イテ、今後ハ整理合同等ヲ促進スルト云フ今御話デアッタノデアリマス、此共同施設ト云フコトハ營業製絲ニモ組合製絲ニモ適用サレルコトデアラウト思フノデス、其點チヨット私了解シ兼ネタノデアリマス

○政府委員(入江魁君) 御説ノ通りデアリマス、兩方ニ致シマスノデス
○男爵藤村義朗君 サウ致シマス、組合製絲ノ方モ矢張り基準ハ百五十ト云フ位ノコトニ御決メニナル譯デスカ

○政府委員(入江魁君) 此共同施設ノ方ニ

於キマシテハ、大體組合製絲、營業製絲ヲ取交ゼテ、斯ウ云フ風ニ私共考ヘテ居ル次第デゴザイマス、全體集リマシタ釜數ガ三百釜位ノモノニシタイ、ト申シマスルノハ、五十釜或ハ二十釜ト云フヤウナ工場ガ集リマシテ一ツノ共同設備ヲ致シマシテ、先程申シマシタ揚返所ヲ造リ、或ハ共同荷作所ヲ造ルト云フ時ニ當リマシテハ、詰リ合理的經營ヲシテ行キタイト、斯ウ云フ考カラ以チマス、大體三百釜位ヲ基準ニ置キマス方ガ、サウ云フ共同施設ヲ爲シマスニ當リマシテ、總テノ點ニ付テ都合ガ好イノデハナカラウカ、斯ウ云フ意味デ實ハ前臨時議會ニ於キマシテ御協贊ヲ仰ギマシテ只今其方針ノ下ニ進メツツアリマシテ、三百釜位ニ集メタモノニ對スル共同施設ヲスルト云フ、斯ウ云フ風ナコトニ、只今ヤッテ居ル次第デゴザイマシテ、今私共ハ此法律ガ施行サレマシテ、其後ノ共同施設ニ對シマシテモ其方針ノ下ニ進ムデ行キタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○男爵藤村義朗君 三百釜トシマス云フト、只今御話ニ依ッテ、百釜デ二十五万圓資本ガ要ルトカ、サウデシタカネ
○政府委員(入江魁君) 私ノ申上ゲマシタ現在アリマス十釜トカ二十釜トカ三十釜ト

云フ工場ガゴザイマスガ、ソレガ一緒ニナルト申シマスルノハ工場其モノガ合同スルト云フコトデアリマセヌデ、其人達ガ一緒ニナリマシテ一ツノ作業場ヲ茲ニ拵ヘルト云フヤウナ風ノ意味ノ……

○男爵藤村義朗君 例ヘバ十釜ノ工場ガ三十アツテ、ソレガ合同シ、共同シテ以テ一ツノ團體ニ成ッテ行クト云フコトニ付テ三百釜ト云フコトニナルノデスカ

○政府委員(入江魁君) 左様デゴザイマス
○男爵藤村義朗君 ソレナラ能ク分リマシタ私ハ三百釜ト云フ標準ガ良イカ悪イカ分リマセヌケレドモ、大體今ノ政府ノ御方針ニ依ルト此位ヲ標準ニシテ整理合同ヲ勸メテ御出デニナルト云フノデアリマス、固ヨリ地方ノ實際ノ事情ニ依リマシテ、養蠶業或ハ製絲業ノ事情ニ依リマシテ大分其異ナル所ガアルト思ヒマス、強チ一ツノ地方ガ三百釜ガ適當ダカラサウデナケレバナラヌト云フコトモナカラウト思ヒマスカラ、政府ノ御方針トシマシテモ、其邊ノユトリヲ見テ置イテ戴キタイ、三百釜ト云フ風ニキツチリ御決メニナラズ、相當ノドツチニデモ行ケルヤウニ、大體ノ腹ハ決メテ置イテ戴キタイ、其時ノ其地方ノ實情ニ應ジテ整理合同ヲ其基準ニ依ッテ御立テニナルヤウニ私ハ希望

スルノデアリマス、ドウデスカ
○政府委員(入江魁君) 御趣旨ノ如ク私共ノ方ニ於キマシテモ將來イタシタイト考ヘテ居リマス
○男爵藤村義朗君 マア大體此位ニシテ置キマス

○藤田四郎君 先刻大臣ガ御説明ノ中ニ大變亂立ト云フコトノ御話ガアリマシタ、拜見イタシマシタ書類ニ依リマシテハ亂立ト云フコトヲ認ムルコトハチヨット分リニクイ、玉絲ノ場合ハ分リマセヌガ、此統計表ヲ見マシテ大體玉絲ハホンノ一時ノ都合デ年々變ハルモノデゴザイマスカラ餘リ基礎ニナラヌダラウト思ヒマス、詰リ機械工場トシマシテハサウ亂立シテ居ナイ寧ロ減テ居ルヤウニ見エマスガ、是ハ如何ノモノカ、又從來製絲工場ニシテモ「ボイラー」ヲ設備スルモノモアリマスカラ、縣デ相當ノ取締ノ許可モ得ナケレバ設備ガ出來ナイノデアリマスカラ、今度又斯ウ云フヤウナコトニナリマシテ、更ニ農林省ノ許可ヲ經ンナラヌト云フコトハ、是ハ非常ニ當業者ハ迷惑ヲスル、既ニ許サレテ居ル、ヤッテ居ル所ノ者デモ、此法文ヲ見ルト屢、検査ニ行カレルト云フヤウナコトモアリ、又釜數ヲ増スト云フヤウナコトモ矢張り許可ヲ得ナケ

レバナラヌヤウニ思ハレル、其詳細ノコトハ勅令ナリ其他デスカラ分リマセヌガ、ドウモ或點カラ云ヘバ統制ガ出來テ大變宜イヤウデスケレドモ、他ノ一方カラ丁度宜イダケノ以上ノ不便ガ生ジヤセヌカト思フノデアリマス、又此蠶蠶家ナドカラ見マシテモ、是ガ大キナモノニナッテ行キマシタナラバ、先刻藤村男カラ御話ガアリマシタ如ク此値段ノ上ニ於テ非常ニ製絲家ハ虐メラレテ仕舞フト云フヤウナコトハ免レナイト思フ、是ハドウ云フ動機デ非常時議會ヘ此案ヲ御出シニナッタノカ、一日モ早クヤッタラ宜イト云フノデゴザイマスカ、大體極ク現在アル所ノ製絲家ノ、極ク一部ノ所謂小サイ工場ナドノ困テ居ル者ハソレヲ望ンデ居ルカ知レマセヌガ、大體ニ於テ大キナ製絲家ハ斯ウ云フモノヲ望ミマスイト思ヒマスガ、詰リ將來此製絲場ニ於テモ發明其他ノ爲ニハ是ガ非常ニ妨ゲニナルモノト思ハレマスガ、今茲ニ御提案ニナリマシタ理由ヲ解シ得ナイノデゴザイマシテ、チヨット一應御尋ヲ致シマス

○政府委員(入江魁君) 私カラ御答ヘ申上

ゲマスガ、甚ダ説明申上ゲルヤウナ形ニナッテ相濟マヌト存ジマスガ、此製絲業ト云フモノハ近年著シク發達シテ參リマシテ、大

正九年ノ生産額ハ僅ニ三十六万位ニシカナッテ居ナイノデアリマス、ソレガ僅カ十二三年ノ間ニ於キマシテ七十三万俵ト云フ風ナ倍額ニ達シテ居ルノデアリマス、是ハ今御尋ノコトニナルノデアリマスガ、丁度大正九年ニ於キマシテハ生絲ノ價格ガ一俵ニ致シマスルト十六貫デアリマス、一俵ハ百斤デアリマスガ、百斤、十六貫ガ四千三百六十圓ト云フヤウナ價格ニナッタ、サウ云フコトカラ致シマシテ、我國ノ蠶絲業ハ急激ニ進歩發達ヲ致シマシテ、其結果ドツチカナ申シマスルト云フト價格ガ非常ニ高イト云フコトニ刺戟サレタ爲ニ何ト申シマスルカ、今マデヤッテ居ラナイヤウナモノマデモ……、此工場ヲ經營シマスルニハ十釜トカ、二十釜位ノ工場ニナリマスルト極ク僅ナ資本デ、極ク僅ナ人間デ出來ルト云フ關係カラ景氣ガ好クナレバ始メル、從テ其關係カラ致シマシテ私共此十年間ノ状態ヲ調べテ見マスルト、其間ニ唯雜然ト發達シテ來タノデナカラウカ、サウシテ最近ニ於キマシテ御承知ノ如ク本年ノ四月、五月ト云フ風ナ時ニハ一俵ノ價ハ四百圓、三百九十圓ト云フ風ニナッテ參リマシテ、蠶絲業ニ於キマシテハ御承知ノ如ク色ミナ重大危機ニナッテ來タト云フ風ニ私共考ヘルノデアリマ

ス、其一端ト致シマシテハ只今私共ノ考カラ申シマスルト云フト、此生産サレマスル繭ニ對シテ、製絲工場ト云フモノハ少シ多過ギルノデナカラウカ、然ラバドノ位多過ギルカト云フコトハ實ハハッキリ申上ゲ兼ネルノデアリマス、大體二割見當位今多イノデナカラウカ、斯ウ云フ風ニ私共釜數ノ上カラ考ヘテ居ルノデゴザイマス、サウ云フ風ニナリマスルト、ドウシテモ競争トカ、色ミナ風ナ點カラ殊ニ此値段ガ下リマスル場合ニ於キマスルト、賣急グト云フヤウナコトガ出テ參ルノデアリマス、サウシテ今申上ゲマシタヤウニ此製品ト云フモノガ外ノ製品ト違ヒマシテ日本デ出來マスル所ノモノノ八割五分マデハ亞米利加其他ノ歐羅巴ニ行ッテシマフ、殊ニ多ク亞米利加ニ參ルト云フ品物ニナッテ居リマスル關係カラ外ノ製品ト非常ニ違フノデナカラウカ、斯ウ云フ風ナ日本デ使ヒマスルモノハ僅ニ十四五万俵シカ使ッテ居リマセヌ、而モ今申上ゲマシタヤウニ五十六万俵ハ外國へ出テシマフ、斯ウ云フ品物ノ關係カラ致シマシテ日本デ賣崩シテ置イテ、外國デ折角高ク買フト云フモノヲ日本デ下ゲテ居ルト云フヤウナ風ニ私共此十年間ノ統計ナドヲ見ルトサウ考ヘルノデゴザイマス、ソレニハ是

ハ勿論茲ニ今日提案イタシマシテ御協賛ヲ仰ガフトシテ居ル此製絲業バカリデハナイノデアラウト存ジマス、其他ニ色ミ此蠶絲業ニ於テハ種々ナ點ニ於キマシテ統制ヲ圖ルベキ點ガ多アルノデナカラウカ、斯ウ考ヘマシテ、此亂立ト云フコトヲ申上ゲマシタノハ最近ノ統計ニ於キマシテ今申上ゲルヤウニ小サナ工場、景氣ノ好イ時ニハ起上ル斯ウ云フ製絲家ハ實ハ百五十釜アルト先ヅ樂ニ出來ルト云フ關係ガラウト存ジマスガ、サウ云フ關係カラ外ノ百五十釜以上ノモノヨリモ出來ル數ガ多イ爲ニ競争スル、競争スル爲ニ賣急グト云フヤウナ風ナ場合、例ヘバ今日ノヤウナ状態ニナリマシテ、只今デハ丁度現物ハ千百圓ニナッテ居リマス、最近二箇月前ニハ五百圓位デアリマシタモノガ今日ハ千百圓ト云フ位ニナッテ參リマシテ、此値段ガ騰ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ先ヅ大シタ弊害ハナイノデハナカラウト思ヒマスガ、一朝下ッテ參リマスルト云フト、サウ云フ風ナ色ミナ弊害ガ出テ來ル、斯ウ云フコトカラ考ヘマスルナラバ外國貿易品ト致シマシテ他ノ製品ヨリモ或ル意味ニ於キマシテ重大ナ違ヒガアルノデハナカラウカ、斯ウ云フ點カラ出來マスルダケ一ツ將來ニ出來マスルモノニ對シマシテ

ハ、餘り出来タリ、起キタリ、止メタリ、斯ウ云フコトノナイモノトシテ行キタイ、斯ウ云フコトガ一ツノ主眼點デアアルノデアリマス、過去ノ實蹟カラ申シマスト百五十釜以下ノモノニ付テハ止メタリ起キタリスルコトガ統計上多イ、斯ウ云フコトカラ亂立ト申上ゲテ譯デアリマシテ、以上ノ點カラ考ヘマシテ相當ノ茲ニ統制ヲ圖リマシテ、免許制度ヲ布クコトハ將來ノ利益デハナカラウカ、斯ウ考ヘタ次第デゴザイマス

○藤田四郎君 マア亂立ト云フ言葉ニ付テ申シテ譯デアリマセヌガ、統計ノ示ス所ニ依レバ工場ノ數ガ無闇ニ殖エテ居ル譯デハナイ、成程年々多少ノ異動ハアリマスガ、殊ニ大正十四年・昭和六年ノ統計モアリマスシ、又昭和二年・六年ノ統計モアリマスガ、ソレニ依リマシテ農林省ニ於テ取締リナサラウト云フ所ノ工場ニ付テハ殖エテ居ルト云フヤウナ形ヲ見ルコトハ出来ナイノデアリマス、成程生産ノ上ニ於テハ多少ノ違ヒモアリマセウガ、ソレハ釜數ノ違ヒデアラウ、併シ近頃ノヤウニ年々計算シテ、半期毎ニ精算スルト云フコトデハ随分損益モ著シイノデスガ、生絲ノ貿易ト云フモノニ付テハ、私ガ承ハル所デハ製絲工場ナリト

云フモノハ元ハ三年四年位ヲ一期ノ計算期トシテヤッタモノノヤウニ聽イテ居リマシタ、デ昔カラ矢張り是ハ相場ノ高低ノアルモノノヤウニ承ハッテ居ルノデスカラシテ、只今御説明ノヤウナコトデハナイト私共ハ思フノデス、現ニソレデゴザイマスルカラ小サイ工場、或ハ座繰トカ、サウ云フヤウナモノデハ其盛衰ニ依ッテ多少ヤルノデゴザイマスルガ、此法案ニ於テモ座繰等ノ御取締ハアル譯デハナイノデゴザイマスカラ、機械工場ノ方デゴザイマスレバ、機械工場ノ所ニ於キマシテハ、サウ手輕ニ出來ルモノデハナイノデゴザイマスカラ、サウコチラデ御取締ナサッテ人民ニ迷惑ヲ御掛ケナサル必要ハナイデアラウト思ヒマス、是レデ見マスルト何レ農林省デ豫算デモ取ッテ監督員デモ御置キニナッテ、經費デモ御増シニナルコトニナルデアラウ……豫算出テ居リマスカ

○政府委員(入江魁君) 是ハ矢張り免許イタシマスルニ當リマシテ六万五千圓バカリノ經費ヲ取ッテ居リマス、デ是ハ主トシテ府縣ニ於キマシテ技手一人宛ヲ大體製絲工場ノ主モナル所ニ、三十九府縣ト今茲ニ思フテ居リマスガ、技手一人位ヲ置キマシテ、本省ニ少シバカリノ人ヲ置キマシテ、此取締

其他ニ付テヤッテ見タイ、斯ウ云フ考デアリマス、只今ノ御説デ、甚ダ言葉ヲ御返シスルヤウニ當リマスルガ、チヨット先程藤村男爵ノ御問ニモ申上ゲテ置キマシタノデアリマスガ、私ノ申上ゲマシタ言ヒ方ガ惡イノカモ存ジマセヌ、此釜數ノ少イモノ程一度興キマシテ、サウシテ又今度ハ止メル、斯ウ云フコトガ多イノデゴザイマス、デ是ハ實ハ亂立ト云フ言葉ガ惡カッタカモ存ジマセヌガ、大體見マスルト、休業シテ居リマスルモノガ景氣ガ好クナルトヤリ出ス、ソレカラ景氣ガ惡クナルト止メテシマウ、從テ此狀態ヲ見テ見マス、或ハ工女ノ賃金ノ支拂ヲシナイト云フヤウナコトガアル、又養蠶家ノ繭ヲ買ヒマシタ所ノ代金モ拂ハナイ、斯ウ云フコトガ頻々トアルノデゴザイマス、サウシテ持ッテ居ル製品ハ安ク賣ッテシマウ、斯ウ云フ實例ガ實ハ頻繁ニ出テ居リマスノデ私共痛切ニ……最近ノ生絲ノ狀況ヲ見テ見マス、最近安クナッタ時ニ於キマシテ、亞米利加ノ方ガ相場ガ高イ、高イニモ拘ラズ日本ガ下ゲテ行クト云フヤウナ狀態デ、是ハドウシテモ或ル一定ノ組織、一定ノ經費ヲ備ヘテ居リマス、資本ヲ持ッテ居リマス工場ナラバ實急ガナイ、ソレガ爲ニ相場ノ上ニモ惡影響ガナイノデハナイ

カ、斯ウ云フコトヲ痛切ニ私共感ジテ居リマス、是ハ當局ノ考ヘマスマデモナク、既ニ民間ノ方ニ於キマシテモ色々是ニ付キマシテ製絲業ノ、蠶絲業ノ統制ト云フ問題ガ叫バレテ居リマスノモ其趣意デハナカラウカ、斯ウ私共モ考ヘマシテ、茲ニ提案ヲ致シタヤウナ次第デゴザイマス

○藤田四郎君 只今外國ノ市場ガ高クテコチラハ安イトカ云フコトモ御有リデシタガ、ソレハ外國ガ安クテ日本ノ高イ時ト、外國ノ高クテ日本ノ安イ時ト、ソレハ年中アルコトデゴザイマシテ、ソナコトハ何ニモ根據ニナラヌト思ヒマス、又資本ノ上カラ申シマスルト、大會社ノ方ガ原則トシテハ資本ガ餘計アルヤウニ見エマスルガ、製絲工場ナドニ於キマシテモ……一二ノモノハ別デスケレドモ、其他ノモノデハ或ハ小サイ工場ノ方ガ却テ持チ耐ヘルト云フヤウナコトガ餘計アル場合モアルノデアリマシテ、強チ只今ノ御説ノヤウニハ私共ハ實際ヲ見テ居リマセヌ

○政府委員(入江魁君) クドイヤウデアリマスガ、先程藤村男爵ノ御問ニ對シマシテモ御答ヘ致シマシタノデアリマスガ、必シモ小サナ工場ガ良イトカ、大キナ工場ガ良イト云フコトハ御説ノ通りト存ジマス、唯其

……大體ニ於キマシテ色ミナ點、即チ先程私ガ縷々申上ゲマシタノデゴザイマスルガ、外國へ出シマスル上ニ於キマシテ荷物ノ不揃、製品ノ統一ト云フヤウナ點カラ考ヘマシテ、横濱、神戸ニ於キマスル兩検査所ニ於キマシテ検査ヲ致シテ居リマス、検査ヲ致シマスル時ニ當リマスト小サナ工場デヤッタ製品ハドウシテモ不合格ニナル、不合格ニナリマスト最近殊ニ御承知ノ如ク横濱神戸ニ於キマスル生絲検査ト云フコトガ從來ハ肉眼検査デヤツテ居リマシタモノガ機械検査ヲ採ルコトニナリマシタ、其結果非常ニヤカマシイ、嚴重ナ検査ヲ致スコトニナツタノデアリマス、サウスルト小工場デヤツテ參リマシタモノハドウシテモ検査ニ合格シナイ、不合格率ガ非常ニ多イノデアリマス、サウ云フ風ナ點カラ參リマスト小工場ヲ經營イタシマスル者ハ明カニ不利益ニナル、今申シマシタヤウニ是ハ横濱神戸ニ於キマスル検査ノ實蹟デアルノデアリマスガ、是モ何レ御手許マデ其成績ノコトヲ差上ゲタイト存ジマスルガ、不合格ガ大變多イ、不合格ニナツタモノハドウスルカト申シマス、内地ノ地遣ヒニ廻ル、地遣ヒニ廻リマスル時ニ、横濱神戸マデ持ッテ參リマスト之ヲ又地元ニ持ッテ來ルト云フ

コトハ色ミナ點カラ不利益デアル、爲ニ横濱デ賣ッテシマウ、ト云フコトカラ地遣ヒノ値段ヲ崩シテシマフ、サウ云フコトカラ外國ニ賣ルベキ製品ノ値段ヲ崩ス、斯ウ云フコトガ往々ニアルノデゴザイマス、サウ云フ風ナ點カラ考ヘマスルナラバ、殊ニ先程申シマシタヤウニ輸出イタシマスルノハ千斤ト云フモノガ大體規格ニナツテ居リマス、取引ノ單位ハ千斤ト云フコトニナツテ居リマス、千斤造ルノニハ先程申シマシタヤウニ百五十釜ノ工場デスラモ一箇月ニ三回、三千斤、即チ年ニ三十六回平均賣ラスル、百五十釜デスラ月三千斤シカ出來ナイ、斯ウ云フ現在ノ傾向カラ考ヘテ見マシテモ僅ニ現在ニ二千斤トカ造ッテ居ル工場デハ輸出イタシマスルニハ非常ニ不便デハナイカ、斯ウ云フ風ニ大體輸出生絲ト云フ風ナモノニ根本ヲ置イテ居ルヤウナ關係カラ見マシテ、先程私ガ申シマスルヤウニ大體ノ製品ガ外國ニ出テ參リマス、斯ウ云フ風ナ點カラ考ヘマスルナラバ將來起リマスモノニ對シマシテハ相當ノ制限ヲ置キマシテ取縮ル方ガ利益デハナイカ、サウシテ現在ヤツテ居リマスルモノヲ之ヲ無暗ニ廢シテシマフト云フコトハドウカト思ヒマシテ、原案ト致シマシテ八十年間ノ間ニ色ミナ整理合同

ニ付テハ政府ガ獎勵金ヲ出ス……是ハ臨時議會ニ於テ御協賛ヲ得テアリマスガ……ト云フ風ナ方法デ改善ヲシテ行キタイ、斯ウ云フコトガ此主眼トナツテ居ルノデゴザイマシテ、ドウゾ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○藤田四郎君 度ニナンデスガ、前議會ニ獎勵金ガ出マシタト云フコトヲ聽イテ居リマシタデスガ、アレナドモ要ラスモノト思ヒマスガ、ソレハ過ギ去ッタコトデアリマスカラ、是ハ其儘ニ致シマス、産業組合ナドニ特別ノ制限ヲ置カレルヤウデスガ、産業組合ナドガヤルト云フノハ成績ガドウ云フモノデアリマセウカ、アレハ今會社同様ノ稅ヲ拂ッテ居リマスガ、ドウ云フ風ニナツテ居リマスガ、ソレモ承知シタイ、ソレカラ地方ニ本省カラ今派シテ縣ニ所屬シテ監督セシムルト云フコトデアリマスガ、是ハ工場ノ迷惑ニナルダラウト思ヒマス、大キナ工場ナドハ之ヲ利用シテ役人ヲ使役シテ都合好クヤリマセウガ、小サナ工場ナドハ迷惑スルコトト思ヒマスガ、斯シナモノハ置カナイ方宜イト思ヒマス、是ハ私ノ見ル所ト違ヒマスガ、理窟カラ言ヘバ監督シテ便宜ヲ得ラレルノデアリマスガ、事實ニ於テハ小サイ工場ナドハ迷惑デアラウト

思ヒマス、其爲ニ國費ヲ御使ヒニナルコトモ御考ヘニナルベキコトデハナイカト思ヒマス

○政府委員(入江魁君) 産業組合ノ方面ニ於キマシテハ大體産業組合ノ製絲ト云フモノハ今ノ所デハ五百四五十ゴザイマスルガ、中ニハ勿論優秀ノ成績ヲ擧ゲテ居ルモノモ其中ニ或部分ハゴザイマスガ、概シテ今ノ状態デハ産業組合ノ製絲ト云フモノハ思ハシクナイト云フ状態ニゴザイマス、是ハ矢張り經營宜シキヲ得ナイト云フ風ナ點モゴザイマスルト存ジマスルノデアリマシタガ、是非將來ニ於キマシテハ政府ト致シマシテハ、産業組合製絲ト云フ方面ニ於キマシテハ出來ルダケ獎勵シテ行キタイト考ヘテ居リマス、其意味ニ於キマシテ此産業組合製絲ノ方面ニ於キマシテハ百五十ヲ百釜ト致シタノデアリマス、ト云フノハ先程私ガ申上ゲタノデアリマスガ、此農村ノ狀況カラ押シテ參リマシテ、工場ニ供給イタシマスル關係カラ致シマスルト、産業組合ニ於キマシテハ組合員以外カラ買フコトハ出來マセヌ、サウ云フコトカラ營業製絲ト違ヒマシテ繭ヲ得マスルコトガ不便ノ點ガアル、斯ウ云フコトカラ致シマシテ大體百釜位ガ至當デハナカラウカ、是モ實ハ産業

組合ノ御關係ノ方ミノ御話ヲ承ハリマシテ、大體百釜位デ將來出來ルモノニ付テハ取締テ行クコトガ宜イデハナイカト云フコトデアリマシタノデ、私共モ其點ニ付キマシテ左様考ヘタ次第デアリマス、ソレカラ今ノ取締ノ點ニ付テ府縣ニ監督員ヲ置クト云フコトハ、却テ工場ニ害ニアラズヤト云フ御話デアリマシタガ、成程或ル一面ニ於キマシテハサウ云フ場合モアルカモ存ジマセシガ、今ハ何ト致シマシテモ製絲ノ經營ト云フモノハ先程クドク申上ゲマスルヤウニ唯モウ其儘ニナッテ居ル、斯ウ云フ状態ニナッテ居リマスルノデ、此點ニ付キマシテハ將來出來マスルモノニ對シマシテ、是ハ主トシテ將來出來マスルモノノ免許ニ付テ標準、色ミノ或ハ釜數ガ適當ナリヤ、或ハ資本ガドウデアアルカト云フヤウナコトヲ審査イタシマスルノデ、實ハ府縣ニ一人ノ技手ヲ配付イタシマシテモ實ハ少ナ過ギルノデアリマスガ、今日其爲ニ經費ヲ多ク取ルノモドウカト思ヒマシテ今府縣ニ居リマス技師、技手等ヲ利用イタシマシテ、其モノヲ充分監督イタシテ居リマス、今マデ間接ニ監督シテ參ッタノデアリマス、之ニ加ヘマスルニ尙ホ此免許制度ト致シマシテ、技手一名ヲ府縣ニ配付イタシテ出來得マスル

ダケ僅ノ費用ヲ以チマシテ此實ヲ舉ゲテ行キタイ、成ルベク今御話ノヤウニ弊害ノ無イヤウニ出來ルダケ現在ノモノヲ良クシテ行キタイ、斯ウ云フ趣旨カラ出テ居リマスルノデ是ガ却テ惡イ結果ニ陥ルト云フヤウナコトハ無イヤウニシタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

ルト云フコトガドウカト考ヘタノデアリマス、勿論御説ノ如ク工場經營ト云フ主體カラ考ヘマスレバ、經營イタシマスルノガ何人デアリマシテモ最モ利益アル經營ヲスルト云フ上カラ考ヘマスルト、御説ノ通りニナルノデヤナカラウカト存ジマス、唯産業組合ノ方ハ、先程御話ガアリマシタガ、營業税金ト云フヤウナモノモ組合ノ關係上公法人ト云フ關係カラ致シマシテ免除サレテ居リマス、ソナ風ナコトデ少シ營業製絲ヨリモドッチカト云フト有利ナ状態ニ置カレル、其代リ矢張り一方ニ於キマシテハ組合員以外カラ繭ヲ買フコトハ出來マセヌ、斯ウ云フコトデ一朝ニ致シマシテ其組合員ノ中ニ繭ノ生産高ガ減リマシタト云フヤウナ場合ニ於キマシテ外カラ買フコトガ出來ナイ、斯ウ云フコトガアリ、又地域ノ關係カラ致シマシテ組合ヲ作りマスノニ、大體百釜程度ノモノニ致シマスルト不便デヤナカラウカ、斯ウ云フ風ナ意味デ實ハ釜數ヲ營業製絲ト違ヘテモ宜イデヤナカラウカ、農村ノ特別ノ事情ト云フ點カラ考ヘテ大丈夫デヤナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘタノデアリマス

ト云フコトデスガ、幾ラモ其組合員ノ名前デ納メルカラ、サウ云フコトハ表面ダケノ名前デ後ロカラ幾ラモヤッテ居ルノデアリマスカラ、ソレハ餘リ效能ノ無イ説明ダト思ヒマス

○藤田四郎君 今一ツ産業組合ノコトニ付テデスガ、常ニ豫算委員會等デ承ハッテ居リマストサウ惡クナイヤウニ聞イテ居リマスガ、是ハ實際聞イテ見ルト不幸ニシテ目的ニ副ウテ居ラス者トガ多イヤウデゴザイマス、特ニ産業組合ダケニ特例ヲ設ケルノハ御考物デアラウ、寧ロサウ云フコトハ尙ホ餘計組合員ニ迷惑サセルヤウナコトガアリハセヌカト思ヒマス、外ニモマダ色ミ申上ゲタイコトガゴザイマスガ、外ニモ御質問ノ方ガ御有リノコトト思ヒマスカラ、私ハ是デ止メテ置キマス

○政府委員(入江魁者) 唯私共考ヘテ居リマスル點ハ、産業組合ハ御承知ノ如ク部落トカ或ハ村ニ於キマシテ養蠶業者ガ集リマシテ、サウシテ産業組合ヲ組織イタシマシテ工場ヲ經營スルト云フ形ニナリマス、營業製絲ノヤウニ或ハ工場ノ規模ヲ百五十ニスルト云フコトニ於キマシテ、同一ニス

○藤田四郎君 今一ツ産業組合ノコトニ付テデスガ、常ニ豫算委員會等デ承ハッテ居リマストサウ惡クナイヤウニ聞イテ居リマスガ、是ハ實際聞イテ見ルト不幸ニシテ目的ニ副ウテ居ラス者トガ多イヤウデゴザイマス、特ニ産業組合ダケニ特例ヲ設ケルノハ御考物デアラウ、寧ロサウ云フコトハ尙ホ餘計組合員ニ迷惑サセルヤウナコトガアリハセヌカト思ヒマス、外ニモマダ色ミ申上ゲタイコトガゴザイマスガ、外ニモ御質問ノ方ガ御有リノコトト思ヒマスカラ、私ハ是デ止メテ置キマス

○子爵會我祐邦君 私ガ質問セント欲スルコトハ殆ド藤村サンノ御質問デ盡シテ居リマス、私ハ大體ニ於テ極ク簡單ニ承ハリタイノデアリマスガ、只今提案ノ理由ニ付テ幾度カ御説明ニナリ、又他ノ御質問ニ對シテ御答ヘニナリ、ソレカラ結論ニ入ッテ之ヲ能ク考ヘマスルト、詰リ小工業ト云フモノハ敢テ惡イモノバカリデモナイ、信賴スル能ハザルモノバカリデモナイ、而シテ其結論トシテ最後ニ仰シヤイマシタコトハ、横濱神戸ノ検査ニ於テ不合格品ガ多イ、而シテ之ヲ捨賣シテ、ソレガ絲價ニ影響スルモノガアル、其點ガ不都合ダト云フコトニ歸シテシマフ、初メ提案ノ理由トシテ御説明ヲセラレタ所ハ、御説明ノ間ニ於テ惡イコトデナイト云フコトヲ段々御認めニナッテ、サウシテ終ヒハ輸出入ノ關係ノミニ落チタヤウニ考ヘテ居リマス、而シテ又一方カラ只今ノ御説明ヲ摘ンデ判斷ヲ致シマス、今度ノ製絲業ニハ金持デナケレバ這入ルコトヲ得ズト云フ、サウ云フ結論ニ到著シタヤ

ウデアリマス、抑、製絲業ノ如キモノガ、又日本ノ總テノ工業ニ於テ過去ヲ顧ミマスト、自然淘汰ノ結果發達シテ來タモノガ今日組織ガ大キナモノニ成テ居ルヤウニ思ヒマス、二三ノ取り除ケハゴザイマスガ、大體ニ於テカクアルト思ヒマス、而シテ一方カラハ金持ニ非ズンバ這入ル能ハザルト云フコトガ只今ノ御説明デ定義ノ上ニ置カレテシマッタ、而シテサウ云フ金持ガ一縣ニ幾ツアリマスカ存ジマセヌガ、何レ極メテ少イモノニナルグラウト思ヒマス、其少イ者ガ獨占のナ……「モノボリイ」的ナ態度ヲ以テ其府縣デ製絲ヲヤッタ時ニハ、自分ハ此問題ニハ素人デアアリマスケレドモ、養蠶家ガ製絲業者ノ爲ニ非常ニ苦シメラレルノデハナカラウカト云フコトガ、私ノ一ツノ心配デアリマス、繭ヲ買ッテヤラスト云フヤウナコトカラ、ドン／＼安イ値段デ以テ買ハレ、製絲業者ノ爲ニ養蠶家ガ繭ノ値段ヲ左右セラレルト云フヤウナ弊害ガ起リハシナイカ、モウ一ツハ先程藤村君ノ御質問デ盡シテ居ルノデアリマスガ、政府ノ初メニ於テ御説明ニナリマシタ不完全ナリト云フコトヲ認メタ場合ニハ云々ト云フ、不完全ナルト云フヤウナ定義ハ實ニ漠タルモノデアリマス、御説明ノ中ニ百益ニシテ云

云ト云フヤウナコトガ色ミアリマス、又之ヲ地方長官ノ監督ノ下ニ置クト云フコトモゴザイマスルガ、是等ハ先程藤村君ノ仰シヤラレタコトヲ私ハ敢テ繰返ス譯デゴサイマセヌガ、藤村君ノ外ニ私共ハ此點ニ付テ深く心配シテ憂フルト云フコトヲ申上ゲタインデアリマス、到底蠶絲業者ニ強イ……其一、二ハ現ニ出來タ所ノ技師ノ如キモノハ漬職ト云フ言葉ヲ使ッテハ甚ダ失禮デアリマスガ、隨分親密ニナッテ先程藤田サンノ仰シヤッタヤウニ之ヲ巧ニ利用スルコトモ出來マセウ、又小サイ工場ハ將ニ大キクナル運命ヲ持ツ如ク、尤モ只今ノ釜ノ問題、監督ノウルサイコト、其他ニ於テ決定スルコトノ出來ナイヤウニナラウト思フノデアリマス、ソレヲ敢テ只今繰返シマセヌガ私ハ此點ニ於テ非常ニ心配ノモノガ多々アル、臨時議會ニ於テ提案セラレタト云フコトノ理由ナルモノハ是ハ薄弱デアルト私ハ思フノデアアル、ソレデ唯私ハ藤村君方ト感ラ等シクシテ非常ニ憂フルモノデアアル、心配スルモノデアルト云フコトヲ申上ゲテ、更ニ蠶絲業者ガ養蠶家ヲイヂメルコトハナイカト云フコトヲドウ御考ヘニナッテ居ルカト云フコトヲ一ツ承ハリタイコトガアル、モウ一ツハ第五條ニ「公益ヲ害シ」ト云フコ

トガアリマスガ、此公益ヲ害スト云フコトハ時ニドウ云フ風ニモ定義ノ付クモノデ、是ハウツカリスルト蠶絲業者ガ製絲業者ヲイヂメルトカ何トカ云フコトニモ勝手ナコトガ出來ルヤウナ文句ニ私共思ハレマスガ、其二ツノ點ダケヲ極ク簡單ニ承ハリタイ

○政府委員(入江對君) 第一點ノ大製絲業者ノミノモノデアッテ將來ニ興キマスルモノハ金持デナクチャ出來ナイノデナイカ、又私ガ申上ゲマシタコトニ付テ段々趣旨ガ變テ行クト云フヤウナ御話ガゴザイマシタガ、實ハサウデゴザイマセヌノデ、今私ガ縷々申上ゲマシタ總テノ理由カラ致シマシテ必要デヤナカラウカト云フコトヲ考ヘマシテ申上ゲタノデアリマスガ、私共考ヘマスルノニ金持云々ト云フコトデハナイノデゴザイマシテ、今ノ寧ろ第一點ノ中ニ養蠶家ヲ製絲業者ガ苦メルト云フ場合ガナカラウカト云フ御話ガゴザイマシタノデアリマスガ、實ニ此問題ニ付キマシテ色々製絲業者方面、各方面カラ兩三年、四五年前ニ要望ガアリマシタ時ニ於テハ釜數二百釜ニシテ貫ヒタイ、斯ウ云フヤウナ二百釜ノ製絲業者ガ免許制度ニシテ貫ヒタイト云フコトガアッタノデゴザイマス、サウ云フ點カラ色々考ヘテ見マシテ、私共ノ方ニ於キマシ

テハ各種ノ方面カラ考ヘテ之ヲ見マスルノニ、製絲業經營ト云フモノハ然ラバドノ位ノ程度ノモノガ合理的デアラウカ、只今御話ノヤウニ小サナモノハ出來ナイト云フ御話ガゴザイマシタノデアリマスガ、此點申シマスト、十釜トカ二十釜ノ工場デ製絲機械、所謂機械製絲ト云フヤウナ方面ノ動力ヲ使用イタシマシテヤッテ居リマスモノニナリマスト非常ナ不便不利益ニナッテ居リマス、先程チヨット申上ゲタノデアリマスガ私共ノ方デ調べマシタ中デ二三百調べマスト矢張り小サナ工場經營組織ヲシテ居リマスモノハドウシテモ借金等ガ嵩ムデ居ルト云フ風デ、中ニハ勿論良イモノモアルノデゴザイマスガ、矢張り相當經營ノ良イモノモアルノデアリマスガ、多クノモノハ今申シマシタヤウナ不利益デアアル、サウ云フ關係カラ工場ヲ廢メテシマフ、休ムナリ又景氣ガ出テ來ルト資本ヲ借りテ來テヤル、値段ガ出テ來レバ旨ク行キマスガ、安クナルト直グ廢メテシマフ、斯ウ云フ風ナ實例ガゴザイマス、實ハ此資本家トカ申シマスガ、大資本家ノミニ之ヲ許スト云フ意味デハナイノデアリマス、將來興キマスルモノニ於キマシテハ工場ヲ起シマシテ相當ノ利益ヲ擧ゲテ行クニハドノ位ノ程度ガ宜シイカ、斯ウ云フ

意味ト考ヘテ居リマス、其意味ト云フコトヲ申上ゲマス、又一方ニ於テ輸出スル點、各種ノ品物ノ製品ノ統一ト云フ風ナ色ミノ點カラ考ヘテ見マスト先程申上ゲタヤウナ標準ニナルノガ相當デハナカラウカ、斯ウ云フ點ヲ申上ゲマシタ、重ネテクドイヤウデゴザイマスガ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ「公益ヲ害シ」ト云フ問題デゴザイマスガ、是ハ第三條ノ統制命令ヲ致シマスルヤウナ場合ニ之ニ反シタモノト云フ風ニ解釋ヲ致シテ居リマスノデ、實ハ此規定ガ適用シナイ規定ダト私共ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス、提案ノ理由ニ於キマシテ御説明申上ゲマシタヤウニ所謂國家非常時ノ、蠶絲業界ニ於キマスル非常時ノ場合ニ於テ此第三條ヲ適用イタシマス、サウ云フ場合ニ此統制ニ從ハナイモノガアリマスル場合ニ此第五條ヲ適用スル、又法制局ニ於キマシテモ、司法省ニ於キマシテモサウ云フ解釋ニナッテ普通其場合ニ於テハ適用ガ殆ド無い、已ムヲ得ザル場合ノミ適用ガアル、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

セヌカト思ヒマス、ソレデ此處ニ我ミノ手許ニ施行細則ニ則ルベキ事項ノ概要ダケヲ御渡シニナッテ居リマス、先ヅ此點ノ、此處ニ掲ゲテアリマス中ニドウモ矛盾ノ點ガアリハセヌカト思ヒマスノデ、此一點ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、ト云フモノハ營業製絲ノ點ニ於テ伺ウノデアリマスガ、此處ニ一ツノ大キナ千釜以上アル所ノ營業製絲ノ原料ノ蒐集ノ都合、或ハ其他ノ都合ニ依ッテ他ノ縣下ニ或ハ三箇所或ハ數箇所ノ支工場ヲ持ツ場合ガアルノデアリマス、其工場毎ニ矢張り百五十釜ト云フモノヲ當嵌メラレテ、百五十釜ナケレバ其免許ヲ與ヘヌ、斯ウ云フ風ニ規定サレテ、此細則ニ掲ゲラレルノデアラウト思ヒマス、然ルニ一方小サナ現在アリマスル所ノ十釜或ハ其前後ノ釜數ヲ所持シテ居ル所ノ小サナ營業製絲業者、是等ヲ將來ハ合併トカ、或ハ其他ノ方法ニ依ッテ一ツノ共同施設ヲヤレバソレガ百五十釜以上ノ數ニ滿ツレバソレニ認可ヲ與ヘルヤウニ見エルノデアリマス、サウシテ見マスト是ハ工場ヲ直チニ小サナ製絲家ガ何處カ一箇所ニ纏メルト云フコトハ是ハ當然ヤラレルコトデアアルト思ヒマスノデ、各工場ガ點々離レテ居ル十釜前後ノモノヲ以テソレガ表面共同施設ト云フ名義ノ下ニ

隠レテ此認可ヲ受ケルト云フヤウナコトニナリハセヌカ、サウシテ見マスルト製絲業ノ免許ハ工場毎ニ受ケシメルト云フコトガ何等カ矛盾ニナルヤウニ見エルノデアリマス、此點ガドウモ矛盾シタヤウニ考ヘラレマスガ、私ノ考ヘヤウガ惡イノデアリマスカ、一應ノ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○政府委員(入江魁君) 御尋ノ點ニ付キマシテハ第一ニ此工場毎ニ致シマスル點ハ御尋ノ通りデゴザイマス、一工場毎ニ百五十、或ハ組合製絲ニ於テハ百ト斯ウ致ス考デゴザイマス、共同施設ノ點ニ付キマシテチヨット申上ゲタイト存ジマスガ、是ハ現在ニ於キマスル此工場ノ出來マスルダケ整理シテ行キタイ、整理イタシマスル上ニ於キマシテ、現在アリマスル工場ニ於キマシテソレヲ共同施設ヲヤタモノハ實ハ原案ニ、衆議院ノ方デ修正ガゴザイマシタノデアリマシテ、原案ト致シマシテハ、十年ノ間ニ於キマシテ現在アリマス小サナ工場ヲ出來マスルダケ整理シテ行キタイ、改善シテ行キタイ、斯ウ云フ點カラ考ヘマシテ、此共同施設ト云フコトヲ處理シテ行キタイ、ト申シマスルノハ、茲ニ十釜ノ工場ガ三十アリマス、ト申シマスレバ、三十ヲ合同セシムルト云フコトヲ致サシメヌデモ共同施設ヲヤ

ル、先程申シマシタ揚返所ト云フモノヲ造リ、或ハ共同販賣所ヲ造ル、ソレヲ一ツノ工場ト致シマシテ、前ノ合同ニナリマスルモノガ十釜デモ或ハ二十釜デモ全體トシテ考ヘテ、之ヲ認メテ行カウ、ソレハ何故カト言ヒマス、製品ヲ統一シヤウト云フ考カラ、サウ云フ施設ヲ致シマスレバ、合理的經營ニナリマスルノデ、サウ云フ意味ニ於テ此處ニアリマスノデ、實ハ將來出來マスモノハ工場毎ニト、斯ウ云フ風ニナッテ居ル關係カラ致シマシテ、矛盾ハシナイヤウニ考ヘテ居リマスノデアリマス

○男爵平野長祥君 此共同施設ノ點モ能ク分リマシタガ、詰リソレ等ノ只今仰セラレタ如ク三十ノ小サナ製絲業者ガ一緒ニナッテ、ソレノ共同施設ヲヤル、ソレ等ガ小サナ工場ヲ其儘矢張り利用シテ行クノデハナイカト思フノデアリマス、ソレハソレデ宜シウゴザイマセウ、サウ致シマス、一方先程申シマシタ、大キナ製絲業者ガ他ニ支工場ヲ澤山持ッテ居ル、其支工場、ソレノ一ツノ、ガ矢張り百五十釜ナケレバ其支工場ニ對シテ免許ヲ與ヘヌト云フコトニナッテハ、私ハ矛盾セヌカト思フノデアリマス、是ハ共同施設以上ニ一人ノ支配者、經營者ガソレハ全部監督シテ居ルノデアリマ

スカラ、其支工場ノ釜數ガ假令百釜以下デアッテモ其工場ダケニ免許ヲ與ヘルト云フヤウナコトハ何ダカ一方ニシテ、一方ニセザル感ガアルノデアリマスガ、其點ハドウデアリマスカ

○政府委員(入江魁君) 能ク了承イタシマシタガ、例ヘテ申シマスナラ、例ヲ學ゲテ申シマスレバ、郡是製絲デアリマスガ、片倉製絲ト云フヤウナ會社デアリマスガ、各地方地方ニ自カラ工場ヲ持ッテ居リマス、今御話ノヤウニ、或ハ四ツノ工場ヲ……斯ウ云フ御話デアッタト存ジマスノデアリマスガ、例ヘバ山梨、長野、其他ノ二縣ニ四ツノ工場ヲ持ッテ居ル、サウシテ經營者ハ同ジデアルト、斯ウ云フヤウナ場合ト想像スルノデアリマスガ、是ハ今御話シタヤウニ、成程其場合ニ於キマシテハ地方地方ニ依リマシテ假ニ茲ニ四ツノ工場ヲ持ッテ居ル一人ノ工場主ガゴザイマシテ、或地方ニハ百釜ヲ持チ、或地方ニハ五十釜ヲ持ツト云フ風ニナッタト致シマスナラバ、出來マスルナラバ其地方地方ニ於キマスル共同施設ノ中ニ加入セシメテ行キタイト、斯ウ云フ風ニ實ハ私共ノ方デ考ヘテ居ルノデアリマス、ト申シマスルノハ、出來マスルダケ其地方ノ製品ヲ統一セシメルト云フコトガ必

要デハナカラウカ、斯ウ云フヤウナコトカラ考ヘマシテ、地方ニアリマスル色ミナ外ノ工場ト矢張り共同施設ノ點ニ於テ合同シテ行クト、斯ウ云フ風ニセシメテ行キタイト、假ニサウ云フ風ナ例ガゴザイマストヤリタイト考ヘテ居リマス、唯此處ニ御質問外デアリマスガ今迄ノ狀態ヲ見テ見マスト、大キナ工場ヲ經營イタシテ居リマスル總テノ經營者ハ最近ニ於キマシテハ大體百五十カラ三百位ノ地方地方ノ工場ト云フ風ニ組織ヲ改メテ行クヤウニナッテ居ルヤウデゴザイマシテ、千トカ八百トカ云フ釜ヲ持ッテ居リマスモノハ矢張り工場ノ經營ノ上ニ於テ餘リ宜クタイト云フ斯ウ云フコトヲ聞及ンデ居リマシテ、大體百五十位カラ三百位迄ノ間ニ改メテ行クヤウニ聞及ンデ居ルノデ、サウ云フ風ニ見テ行ケルノデハナイカト存ジマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイマス、外ニ御質問ゴザイマセスカ、今日ハ此位ニ止メテ置キマシテ明日十時カラ開會スルコトニ致シマシタラ……

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ドウデス、會期延長ニナッタラバト云フコトニ致シテ、ナラナケレバ臨時ニ御集リヲ願フト云フコト

シタイト思ヒマス、ソレデヤ兎ニ角今日ハ此程度ニ止メテ置キマス

午前十一時四十二分休憩
午後二時三十五分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ午前ニ引續キマシテ委員會ヲ開會イタシマス、御斷リ申シテ置キタイト思ヒマスガ、實ハ午後如何ニシヤウカト考ヘテ居リマシタガ、モウ時節モ接追シテ居リマスシ且又假令延期ニナリマシテモ隨分混雜シタ事情ニナリハシナイカト心配ヲ致シマシテ、寧ロ今日御審議ヲ願フタ方宜クハナイカト思ヒマシテ、緊急ト認メマシテ御寄合ヲ願フタノデアリマス、出來ルダケ通知ヲ申上ゲマシタノデアリマスケレドモ、却テ折角ノトコロ御迷惑ヲ掛ケタ御方モアルヤウデアリマスガ、惡シカラズ御諒承ヲ願ヒマス、デハ只今カラ委員會ヲ開會イタシマス、御質疑ガゴザイマスマナラバ……

○藤田四郎君 大臣ニ御出デラ願ヒタイト、進ンデ爲サルト云フナラバ大臣ノ御出デラ願ヒタイト、大事ナコトト思ヒマスカラ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ大臣ノ來ル迄、其他ノ政府委員ニ御質問ガゴザイマスレバ、ドウゾ……

○男爵松岡均平君 組合製絲ノ方デ百釜ト云フコトガ組合ノ方カラノ答申書デスカ、ソレニ出テ居リマスガ、百釜ト云フノハ組合ノ何處カ聯合會ノ方デモ御承認ガアルヤウデスガ、アレハ何デセウカ、モット少クテ宜イト云フコトデアッタノデハナイデスカ

○政府委員(入江魁君) 組合製絲ノ方ニ於キマシテハ組合製絲ノ聯合會ノ方カラ言ヒマシテ……大體沿革ヲ申上ゲマスト答申ガ各、アルノデゴザイマスガ丁度二三年前ニ答申ヲ得マシタ時ニ、今ハ日本中央蠶絲會ト云フモノガゴザイマスノデアリマスガ、其前ニ同業組合法ニ基キマシタ組合ガ出來テ居リマシテ、其時ノ答申ニ依ッテ見マスト大體ニ於キマシテ營業製絲ノ方ヲ二百、組合ノ方ヲ百五十ト云フ風ナコトニナッテ居タノデアリマス、其後色ミナ點カラ致シマシテ、此度立法イタシマスニ當リマシテ全國產業組合製絲組合聯合會ト云フ方面カラ御意見ガゴザイマシテ、其意見ニ依リマスルト大體特殊ノ事情ガアル場合ニ於テハ組合製絲ニ於テハ營業製絲ト違ッテ百釜マデ認メテ賞ヒタイト、斯ウ云フ答申ガアッタノデアリマス、ソレニハ斯ウ云フ風ニ書イテアリマスノデスガ、ソレニ依リマスト矢張り營業製絲ノヤウニ供繭ノ關係、所謂繭ヲ買

ノ製絲家ノ所ハ實際種々ノ不便、迷惑ヲ感ズルダラウト云フコトハ今迄ノ地方ノ有様ナリヲ見テモ疑ヲ容レナイコトデアリヤウニ思ハレル、又統制ト云フコトハ大變美デハアリマスガ、大體國家トシテ即チ政府トシテハ統制ハ獎勵スベシ、法ヲ以テ制限スベカラズト云フノガ、私ハ本當ノ原則デハナイカト思フノデアリマス、總テノ工場、工業ニシマシテモ、商業ニシマシテモ、大體ニ於キマシテ或ハ貿易上ノ争トカ或ハ生産業トカ需用供給ノ争ニ於テ從來デ云ヘバ「トラス」ト云フコトカ、統制シテ或ハ製造ヲ制限スルトカ、販賣ニ付テノ賣値ノ協議ヲスルト云フコトハ、是ハ自衛上イタスベキコトデアル、之ヲ法律ニ依テ行クト云フコトハ非常ナ害ノアルコトデアッテ、即チ間接ニハ富者ヲ保護スルト云フヤウニ見エマシテ、社會主義ト云フモノヲ非常ニ增長サセルコトノ一ツノ原因ニナルノデハナイカト斯ウ思フノデアリマス、斯ノ如キ案ハ農林大臣ハ製絲ノ現狀ニ付テ同情セラレタ結果ガ斯ウ云フコトニナッタノデアラウガ、併シ是ニシテモ從來アル所ノモノモ衆議院デ改正セラレテ或點ハ宜クナリマシテゴザイマセウガ、尙ホ監督ハ從來デモ受ケナケレバナラヌト云フコトニナル、

從來ノ監督ヲ受ケヌト云フノナラバ宜イノデアリマスガ、サウデハナイ、是等ニ付キマシテハ是ハ實ニ農林大臣ノ御案トシテ甚ダ感服仕ラヌヤウニ思フテ居リマスガ、マア色ミゴザイマセウケレドモ、チヨット是ダケヲ取敢ズ申上ゲテ置キマス

○國務大臣(後藤文夫君) 製絲業ノ過去ニ

於ケル實際ノ狀況ヲ見マシテ絲價ノ安定ヲ圖ル上カラモ、養蠶業者ノ利害ノ爲ニモ製絲業ニ相當ナ統制ヲ加ヘルコトガ必要デアルト考ヘタノデアリマス、ソレハ先程來政府委員カラモ、亦藤村男爵ノ御尋ニ對シテ私ガ御答ヘ致シマシタヤウナ次第デアリマス、全ク自由放任ヲシテ置ク方宜シイデアルトハ私共ドウモ考ヘ兼ネルノデ、唯御話ノヤウニ此監督取締ト云フコトハ法規ニノミ流レナイヤウニスルコトハ是ハ十分ニ注意シナケレバナラヌコトデアリマス、蠶絲業ノ堅實性ヲ保持イタサセルト云フコトハ、我國ノ蠶絲業界ノ全體ヲ見渡シマシテ製絲業ノ堅實性ヲ保持シテ行クト云フコトハドウモ必要デアルヤウニ思ハレマス、ソレガ爲ニ御話ノ統制ト云フコトニナリマス

ガ、統制ノ一方法トシテ免許ト云フ制度ニ據ラシメヤウ斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス、御所見ノ根柢ト多少考ヲ異ニ致シ

テ居ルカモ知レマセヌガ、非常ニ強キ制限ヲシテシマハウトスルノデアリマセヌ、大部分ノモノハ大體ニ於テ存立ヲ認メテ行カウト云フノガ政府ノ原案ニ於テモ略、趣旨ハ修正案ニ近イノデアリマス、修正案ノ方ハ一歩ヲ進メテ在來ノモノヲ全部其儘永久ニ認メテ置カウト云フコトニナッタ譯デアリマス、新シク起ルモノヲ必シモ制限ヲシテシマウト云フノデアリマセヌ、基準ヲ決メルコトニ依テ濫設ノ弊ヲ防イデ行カウト云フ緩ヤカナル一ツノ法制ヲ以テ而モ免許ト云フ手段ニ依リ緩ヤカナル法制ヲ以テ製絲業ノ安定性、堅實性ヲ保持シテ行カウト云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス

○藤田四郎君 餘リ議論ニナツテモ何デゴザイマスカラ申シマセヌガ、先刻政府委員

トノ間ニ少シク質問應答ヲ致シタラズト云フコトハ、御示シニナツテ居ル統計デハ決シテ亂立シテ居ラヌ、先刻政府委員ニ申上ゲマシタノデゴザンスカラソレダケヲ申上ゲテ置キマス、敢テ御答辯ヲ煩ハス譯デハゴザンセヌ、尙ホ此方ヲ見マスト云フト第一條ニ命令ヲ以テ規定スト云フコトガアル、

第一條ニ二箇所アリマス、第二條ニモ命令ヲ以テ云フ風ニアリマス、此命令ト云フノガ怖イノデアリマシテ、ソレガ大臣……

本省デハソレ程デハナイノデアリマスガ、運用ノ上ニ於キマシテ丁度扱フ方ガ其檢査ニ來タ者ニ對シテ忙シイ時ニ扱方デモ惡ルカッタリスルト、是ハ怪シカラヌトカ何トカ云フヤウナコトデ誠ニ詰ラヌコトデモ慮メラレタリナンカスルコトガ能クアルノデアリマス、是ハ極ク平和ノ方ノ側ノ惡イノデアリマスガ、尙ホ甚シイモノガ澤山アルノデアリマス、大キナ工場ハ逆様ニ家來同様ニ使ッテ行クガ、ソコハ能ク一ツ御考ヘナサラナケレバナラヌコトデハナイカト思フ、私ハ此案ガ例ヘバ不幸ニシテ成立タヌコトガアツテモ地方ニ養蠶ノ役人ヲ置カレルト云フコトハ宜シイト思フ、監督權ガ無イカラ、却テ指導スル方ニナルカラ、他人ノ智慧デアリマスカラ文珠ノ智慧デ、岡目八目デ多少アチラコチラヲ廻ッテ來テアソコガ良イトカ惡イトカ知ラセテ呉レルト云フコトニナルノデアリマスカラ是ハ非常ニ宜イト思ヒマスガ、此法律デ此權限ヲ持ッテ廻ラレテハ隨分困ルダラウト思ヒマス、先刻同様ノ質問ニ對シテ即チ勅令ナリ省令ヲ以テ御規定ニナルモノガアル、其要點ハ此處ニ載ッテ居リマスケレドモ、是ハ如何様ニ決セラレルカ判ラナイ之ヲ餘程能ク御注意ヲ願ハナケレバナラヌカト思フ、又從來ノ

モノニ向テハ規則ニ衆議院ノ修正ニ於テ但書ガ削除セラレマシタカラ餘程宜シクナリマシタケレドモ併ナガラ監督權トシテハ斯ウセイ、アアセイト云フコトハ矢張り言ヒ得ル、サウスルト但書ハナクナリマシタケレドモ、但書ノコトハ矢張り注意シテ小言ヲ言ヒ得ルト云フコトガアリマシテ、是ハ但書ヲ取ツタカラセンナラヌト云フコトハナイケレドモ、併ナガラ監督權ノ上ニ於テ是ハイカヌヂヤナイカト言ハレル時ニソレハ私ノ方ハ是デアルカラ構ハナインダト云フヤウナコトヲ言テ行クコトニナレバ年中喧嘩ヲシテ行カケレバナラヌ、餘程御考ノ上デ爲サラヌト云フトドウカト思ヒマスガ、尙ホ重ネテ其點ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(後藤文夫君) 御説ノ御懸念ハ御尤ダト思ヒマス、此法ヲ施行シテ監督ヲシマス場合ニ其監督ガ却テ事業ノ繁榮ヲ徒ラニ妨ゲルコトノナイヤウニ注意シナケレバナラヌト云フコトハ此趣旨ノ通りデアルト思ヒマス、先ノ附則ノ但書ノコトニ御話モアリマシタガ矢張りサウ云ツタヤウナ事柄ハ多少良イ意味ニ於テモ、亦御話ノ惡イ意味ニ於テモ起リ得ル、良イ意味ニ於テ起ルト云フノハ但書ヲ削ルガ我々ガ趣旨ト致シマシタ段々小サイ製絲業ニ共同ノ施設其他

ノモノヲ獎勵シテ行ク、サウシテ其經費ヲ成ルベク合理的ニシテヤリタイト云フヤウナ指導ハ矢張り致シタイト存ジマスガ、併シサウ云フコトガ酷ニ流レテ、一面ニハソレノ出來ナイモノニハ何カ無暗ニ監督ヲ加ヘラレテ立行カナイモノニサレルト云フヤウナコトハアッテハナラヌト思ヒマス、良イ意味デノ監督上指導ハ致サナケレバナラヌヤウニ思フノデアリマス

○藤田四郎君 先刻政府委員ノ御説明ニ依リマスルト産業組合ニ對シテハ釜數ニ對スル特別ノ制限ガアルヤウニ承ハッテ居リマシタガ、法文ニアルカドウカハ知りマセヌガ、産業組合ト云フモノハ誠ニ私共モ法律ヲ作ル時分ニハ多少關係シタコトモアリマスガ、精神ハ良イコトデゴザイマセウガ外國デモ大抵皆産業組合ハ失敗ニ歸シテ居ルノガ十ノ八デアルト思ッテ居リマス、日本デモ時折、豫算委員會ナリ、農林省ノ法案ナドノ關係デ産業組合ニ付テ御尋ネシマスト良イモノガ大變多イヤウデアリマスガ、地方ノ方ニ聞キマスト大抵イケナイ、斯ウ云フコトヲ聞キマス、ソレハ責任アル人ニ聞イタ話デアアル、併シ其人ハ産業組合ノ監督者デハナイ、又今度非常時議會ヲ起スニ付テ一面ニハ矢張り産業組合モ其一ツデア

ラウト思ヒマス、其法案其モノヲ惡イトハ申シマセヌガ、ドウモ其人ヲ得ザル時ニハ誠ニ弊弊ノ多イモノデ、國家トシテハ脱税ヲサレテ居ル、社團法人トカ財團法人トカ云フモノニ依ッテ脱税ヲサシテ居ル、脱税ヲシテ居ル所ノモノニ製絲業ヲヤラセル、尙ホ持分ニ配當ハ出來ル、斯ウ云フコトヲサセテアリマシテハ良ケレバ誠ニ結構デアリ、地方農村ガ其爲ニ幸ラスルト云フコトハ誠ニ宜イノデスケレドモ、多クハサウデナイノデゴザイマスカラ若シ茲ニ斯ウアリマシテモ實際從來アルモノハ致方ナイケレドモ、新ニ産業組合ナドニ斯ウ云フコトヲ許シテサセナサルト云フコトハ宜クナイト思ヒマス、有ルモノハ致方ゴザイマセヌケレドモ、無イモノニ態、個人ノ持分ヲ出サシテサウシテ仕事ヲサセテ、一方ニ脱税ヲシテ製絲會社トノ争ヒヲシ、サウシテ其結果ハドウカト云フト皆潰レテシマウト云フコトガ多イノデゴザイマスカラ、農林省デ産業組合ノ御監督ニナッテ居リマスカラソレハ正確ニ御存ジノコトカ知りマセヌガ、地方ノ責任アル人ニ往々聞キマスルトモウ皆私ノ縣ノハイケマセヌト云フコトヲ申シマス、或ハ表面上ドウ云フヤウナ計算ニナッテ居ルカ、サウ云フモノニ新シク斯ウ云フ營業ノ

ヤウナコト迄ヤラセルト云フコトデ、而モ生キ物ヲ相手ニ繭ヲ絲ニスルトカ云フヤウナコトヲヤラセルト云フコトハ大ニ考ヘモノデハナイカト思ヒマス、法文ハ假ニ斯ウアリマシテモ當分ハヤラセナイトカ何トカ云フヤウナ意味デアッたらマダ宜シウゴザイマスガ、尙ホ矢張り農林省デハ産業組合ハ有益ナ働キヲシテドント之ニ獎勵ヲシテ百五十釜ヲ百釜ニシテモ宜カラウト云フヤウナ御考デアリマスカドウカ、一應伺ヒタイ

○國務大臣(後藤文夫君) 産業組合ニ製絲ノコトニ付キマシテ多少私共ノ見ル所ト藤田サンノ見ル所トハ違、テ居ルカトモ思ヒマスガ、御話ノヤウナ産業組合製絲ノ成績ノ惡イモノモ隨分今日アリマス、是ハ獨リ組合ノ經營其他ガ旨ク行カナイト云フ點ノミナラズ矢張り此他ノ製絲業者ト同ジヤウニ經濟界ノ近年ノ不況ノ影響カラ來テ居ルモノモ隨分アルヤウデアリマス、中ニハ極ク堅實ニ産業組合ノ經營ガ行ッテ居ル所モアルノデアリマス、養蠶家ガ直接ニ自分ノ繭ヲ製絲ニ迄持ッテ行ッテ製絲業ト養蠶トノ利益ヲ相當ニ收メルト云フヤウナコトガ行ハレルコトハ、ソレガ健全ニサヘ行ハレルバ私ハサウ害ノアルモノトモ思ハヌノミナ

ラウト思ヒマス、其法案其モノヲ惡イトハ申シマセヌガ、ドウモ其人ヲ得ザル時ニハ誠ニ弊弊ノ多イモノデ、國家トシテハ脱税ヲサレテ居ル、社團法人トカ財團法人トカ云フモノニ依ッテ脱税ヲサシテ居ル、脱税ヲシテ居ル所ノモノニ製絲業ヲヤラセル、尙ホ持分ニ配當ハ出來ル、斯ウ云フコトヲサセテアリマシテハ良ケレバ誠ニ結構デアリ、地方農村ガ其爲ニ幸ラスルト云フコトハ誠ニ宜イノデスケレドモ、多クハサウデナイノデゴザイマスカラ若シ茲ニ斯ウアリマシテモ實際從來アルモノハ致方ナイケレドモ、新ニ産業組合ナドニ斯ウ云フコトヲ許シテサセナサルト云フコトハ宜クナイト思ヒマス、有ルモノハ致方ゴザイマセヌケレドモ、無イモノニ態、個人ノ持分ヲ出サシテサウシテ仕事ヲサセテ、一方ニ脱税ヲシテ製絲會社トノ争ヒヲシ、サウシテ其結果ハドウカト云フト皆潰レテシマウト云フコトガ多イノデゴザイマスカラ、農林省デ産業組合ノ御監督ニナッテ居リマスカラソレハ正確ニ御存ジノコトカ知りマセヌガ、地方ノ責任アル人ニ往々聞キマスルトモウ皆私ノ縣ノハイケマセヌト云フコトヲ申シマス、或ハ表面上ドウ云フヤウナ計算ニナッテ居ルカ、サウ云フモノニ新シク斯ウ云フ營業ノ

ラズ、養蠶家ノ爲ニモ非常ニ利益ナコトデハナイカ、從テ生絲ト云フモノモ生産ト云フ點カラ見マシテ生絲ノ生産ニ至ル迄ノ間ニ生ズル利益ヲ養蠶家モ相當ニ受ケルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナルヤウニ思ハレルノデアリマス、唯此製絲界ノ狀況ハナカ、變遷ガ激シイ、組合製絲ガ他ノ大資本ノ製絲業ノ如クニ其變動ニ處シテ維持スルコトガナカ、困難デアルト云フコトカラ隨分困難ニ陥テ居ルモノモ是迄アツタヤウニ思ヒマス、其點ハ他ノ小サナ製絲業ト矢張り同ジヤウナ立場ニ居ルモノガ少クナイノデハナイカト思フノデアリマス、尙又御話ノヤウニ經營スル人ト云フコトガナカナカ問題デアリマシテ、人ノ宜シキヲ得マセヌト云フト御話ノヤウナ場合ガ隨分生ズルノデアリマス、過去ニモ生ジテ居リマス、是等ノ組合製絲ノ弊害、缺點ト云フモノハ段々矯メテ參ラナケレバナリマセヌシ、又組合製絲同士ノ聯合、共同ノ働キト云フヤウナコトモ色ミ勸メテ行カナケレバナラヌト思ヒマスケレドモ、今日組合製絲ノ堅實ニ進メルモノヲモ阻止シテ是以上ノモノハ過去ノモノハ仕方ガナイガヤラセナイト云フコトガ宜イト云フコトニハ考ヘテ居リマセヌ、唯組合製絲ト云フモノガ御話ノヤウ

ニ餘程良ク經營サレテ、餘程旨ク參リマセヌケレバナカ、困難ナ點ガアルト云フコトハ十分ニ認メマス、組合製絲ガ唯亂立スルコトヲ無論私ハ希望イタシマセヌ、組合製絲ニ對シテハ特ニ最モ良ク指導ヲシテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○藤田四郎君

組合ガ其目的ナリ其人ガ宜シク弊害ガ少イダラウト云フコトハ思ヒマスガ、大體是迄ニ於テ財界ノ不況トカ其他ニ付テノ災難モアルデセウケレドモ、大體産業組合デ製絲場ヲ持ツト云フナラバ政府委員ノ説明ヲ信ジマシテ、其通リトスルナラバ大體ノ一番正シキ方法トシテハ繭ヲ……繭ニモ種類モゴザイマセウケレドモ、凡ソ斯ウ云フ種類ノ繭ト云フモノハ成ルベク其組合ノ中ノ養蠶家ト云フモノノ繭ヲ均一サセテ行クヤウニシテ、ソレデモ等

差ハ出來マセウガ、サウシテソレヲ誰ガ百貫、誰ガ五十貫ト云フモノヲ提供シテサウシテソレニ依テ生産シタ所ノモノヲ處分シテ行クト云フコトデアレバ著シキ弊害ハ無イノデアリマス、然ルニ其實際ノ所ヲ見マスルト事實サウ云フヤウニ行カズニ組合ノ當業者ト云フモノハ多少ノ矢張り政府委員ノ御説明以外ノモノヲ買フトカ、引取ルトカ、組合員ノ名ヲ藉リテサウシテ製造ヲ

スル故ニ幾分ノ見込思惑ト云フモノガ何カ交ジルト云フコトハ免レヌ、其爲ニ矢張り不況ニ陥ルコトガ多イノデアリマス、之ヲ要スルニ人間ノコトデアリマスカラ銘々努力ムル所ニ於テハ最上ノ利益、最上ノ方法ヲ採リタイト云フコトハ當前ノ話デアアル、其コトガ志ト違々結果ヲ現ハスコトニナル、其ナル時ニ於テ産業組合ト云フモノハソコニ行クト誠ニ責任ガ輕イノデアリマス、サウ云フ爲ニ思ハザル失敗ヲ來スノデアアルアリマス、即チ伊太利ナドモ失敗シテ居ル、獨逸ナドモ餘リ良ク行カヌヤウニ聞キマシタガ、今ハドウナッテ居ルカ知レマセヌガ、内地ノモ矢張り今ノヤウナ具合ニナッテ來テ居ルノデアリマスカラ、此邊ニ能ク御了解ヲ願テ置キタイト思ッテ、クドク申上ゲタノデアリマス

○國務大臣(後藤文夫君)

只今仰セニナリマシタコトハ單リ産業組合製絲問題バカリデハナイ、産業組合ノ今日マデノ缺點トスル所ヲ突カレテ御觀察デアルト思ヒマス、産業組合ニ於テハ今ノ御話ノヤウナ事柄ガ一番警戒ヲシナケレバナラヌコトデアリマス、産業組合製絲ガ組合員ノ繭ヲ處分ヲスルト云フコトニ止マラズシテ如何ニモ營業製絲ノヤウナコトヲ加ヘテ色ミナ商賣的、

投機的ノ分子ガヒドク這入ッテ來ルト云フコトハ是ハ避ケナケレバナラヌ、又他ノ産業組合ニ於キマシテモ、是ハ餘談ニナリマスケレドモ、其仕事ガ一ツノ組合員ダケノ相互ノ利益ト云フ點カラ超越シテ經營ヲシテ居ル者ガ興味ヲ持ッテ居リ、多少ノ利害ヲ考ヘテ廣ク營業的ナ手ヲ延バスト云フ所ニ産業組合ノ危險ガ非常ニアルト思ヒマス、是等ノ點ハ將來十分ニ一ツ改正ヲ刷新ヲ加ヘテ行キタイト云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス

○藤田四郎君

尙ホモウ二三御尋ヲシタイト思ヒマスガ、現今ノ生絲ノ世界ノ需用供給ノ振合ヲ見マシレバ、先ヅ人絹ナドノ出來マシタ結果或ハ日本ノ生絲ノ生産ガ過剩ダト云フヤウナ説モアルノデアリマス、或ハサウカモ知レマセヌシ、併ナガラソシナラト云ッテ之ヲ需用供給ノ釣合ニ依リマシテ、銘々ガ自分ノ經濟關係ヲ調ベテ、此養蠶ヲ或ハ新ニ始メル人モアリマセウシ、或ハ養蠶ヲ止ス人モアルデアリマセウ、デ

其爲ニ養蠶地、製絲工場ノ所在地ト云フモノハ年中轉々トスルコトハ免レナイ、昔ハ此關東ニ多クカガ現在ハ關西ニ製絲工場ガ出來タト云フ譯デアアル、併ナガラ所ニ依ッテ聞クトマダ養蠶ヲ獎勵シタイト云フ所モ

アルノデアリマス、又サウ云フモノガ出来
テ来ルコトハ自カラ製絲工場モ立テタイト
云フコトモ出来テ来ル、是ハ免レナイ、ソ
レヲモウ今アルカラ澤山ダカラ許サヌト云
フコトニナルト非常ニ不都合デハナイカト
云フコトガ一ツト、ソレカラ又先刻チヨット
マア緒ダケ開イテ置キマシタノデアリマス
ガ、斯ウ制限ヲ致スコトニナルト、製絲ノ
發達ト云フ上ニ於テ無論銘々出来ルダケ盡
スデセウ、併ナガラ發明ト云フ點ニ於キマ
シテハ餘程妨ゲニナルト云フコトヲ懸念イ
タスノデゴザイマスガ、其二點ニ付キマシ
テ尙ホ承ハリタイト思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) 第一ノ御懸念ハ

製絲工場ノ起ル場所或ハ集中スルヤウナ場
所ガ矢張り時ノ變遷ニ從テ動イテ来ルト
云フヤウナ場合ニ非常ニ不便デハナイカ、
制限ガ置カレルカラト云フコトデアリマス
ガ、ソレハ矢張り百五十釜ト云フヤウナ大
體今基準ヲ置イテ居リマスガ、此合理的ノ
經營ヲスル下ノ境ノ適當ノ基準ト云フモノ
ガ矢張りサウ云フ所ニ必要ヲ生ジテ事情ノ
變化ニ應ジテ出来テ行キマスルコトガ望マ
シイコトト思ヒマス、ソコニ小サイモノ
ガ無暗ニ出来テ来ルト云フコトハ必ズ亦過
去ノ經驗ヲ繰返スコトニナルノデハナイカト

思ヒマス、必シモ御話ノヤウナ點ヲ阻害ス
ルト云フ意味デハアリマセヌデ、御話ノヤウ
ナ場合ニ於テ現實ノモノガソコニ起テ来
ル場合ニ考慮スルト云フコトニナルト思ヒ
マス、第二ノ自然新シク起ルモノガ少クナ
ルト云フガ爲ニ、製絲ノ進歩發達ノ上ニ新
機軸ヲ出スト云フヤウナ努力ガ製絲業者ノ
間ニ少クナリハセヌカト云フ御懸念デアリ
マスガ、是モ或ル基準ヲ置キマシテ、將來
起ル製絲業ノ規模ヲサウ小サナモノノミニ
スルト云フコトニ依テソレ程御懸念ニナ
ルヤウナ、競争カラ生ズル刺戟ト云フモノ
ヲ非常ニ少クシテシマフト云フ程ノコトハ
ナカラウト思ヒマス、現在ノ蠶絲業界ノ全
般ヲ見渡シマシテ、今日アル製絲工場ノ全
體ノ釜數其他ノ事情ガ飽和點ヲ餘程越エテ
居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、從テ可
ナリ多數ノ製絲工場ガアルノデアリマス、
將來ニ於キマシテ此制度ヲ置キマシテモ餘
リ多數ノ工場ガ存在シテ来、或ハ續イテ起
テモ參リマスル譯デアリマスガ、今御懸念
ノヤウナ點ハサウ強ク是ガ爲ニト云フ程ノ
コトハナカラウカト存ズルノデアリマス

○藤田四郎君 第五條ニアリマスル本法ニ

基キ發スル命令若クハ處分トアリマス、是
ハ一カラ十マデアリマセウガ、免許取消、
制限、停止ト云フコトガアリマスルガ、是
ハドウ云フヤウナ場合ノ命令マデガ此違反
ノ中ニ這入ルデセウカ、又六條ニ取締上必
要アリト認メタ時ハ斯ウ云フヤウナコトガ
出来ルト云フノデアリマスガ、斯ウ云フヤ
ウナ倉庫ノ臨檢ヲスルトカ云フコトハ何ノ
必要ガアルカト思フノデアリマスガ、ドウ
モ法文トシテハ自然斯ウ云フコトヲ御書キ
ニナリタイヤウナ感じハスルデセウト思ヒ
マスケレドモ、斯ウ云フコトハ、非常ニ障
リニナリハシマセヌカ、モウ少シ必要ナラ
之ヲ制限的ニ表ハスコトハ出来ヌノデゴサイ
マスガ、如何ニモ懸念ノ至リニ堪ヘナイ、
隨分製絲場ナドニ於テモ、矢張り商賣ノ關
係ガアルコトデゴザイマスルカラ、自分ノ
所ニ幾ラ繭ヲ持テ居ルトカ云フコトヲ反
對ノ製絲家ニ示シタクナイ場合モアルデセ
ウ、所ガ今ノ御役人サンガ行テ調ベル、是
ガ片一方ノ手先ニナテ調ベニ行クト云フ
ヤウナコトモアリ得ルノデアリマスカラ、
私ハ商賣上ノ實地ノコトハ分リマセヌガ、
サウ云フコトヲスルノニ甚ダ怖イヤウナ感
ジガ致スノデアリマス

○國務大臣(後藤文夫君) 是ハ多ク斯ウ云

フ種類ノ法制ニゴザイマスル制度デゴザイ
マス、外ノ條項ノ結果トシテ發動イタシマ
スル命令處分等ガアリマシタ場合ノ罰則デ
アリマシテ、是ハサウ細カナコトヤ色ミナ
コトニ無暗ニ用キラレル譯ノモノデハゴザ
イマセヌ

○藤田四郎君 無暗ニ用キラレヌト云フコ

トニナルト、誠ニ何トモ言ヒ様ハナイヤウ
デスケレドモ、ドウモ法文ヲ書ク時ニ役人
ハ斯ウ云フモノヲ書キタガ爾癖ガアッテイ
カヌ、我ミモサウ云フ時代ハアッタノデアリ
マスガ、甚ダ悪イコトデアアル、ドウモ甚ダ
悪イコトデアアル、或ハ危險ノ性質ガアルト
カ公益ニ害スルトカ云フヤウナコトナラバ
宜シイノデスケレドモ、サウデナイ、利益
ノ増進ノ爲ニモ是ガ這入ル、サウスルトド
ンナニデモ解シ得ルコトニナテ甚ダ迷惑
スルノデスカラ、若シ此法ヲ直スコトガ出
來ルナラバ、斯ウ云フ時ニ危險ノ障リガア
ルトカ或ハ公益ヲ害ストカ云フ點ダケニ是
ハ實行スルノデアアル、後ハ教ヘル意味デア
ルト云フ意味ヲ御明言ナサレバ我ミモ安心
スルノデスカラサウデナイト……
○國務大臣(後藤文夫君) 大體御趣旨ノヤ
ウナ通りニ考ヘテ居ルノデアリマス
○藤田四郎君 サウシマスルト第五條ノ命
令又ハ處分ト云フモノニ依テ免許取消ト
カ事業制限トカ停止スルト云フモノハ警察

事項トシテ處置シ得ラルベキ、處分スルベキ事柄ノヤウナ意味ノ上ニハ及バナイ、即チ利益増進ノ爲ト云フヤウナ風ノ意味合ノコトニハ及バヌト云フコトノ御明言アッタト云フコトニ心得ヲ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(後藤文夫君) チョット御話ノ意味ガ能ク私ニハ分リ兼ネマスルガ、此第五條ノ「本法ニ基キテ發スル命令若ハ處分」ト言ヒマスルノハ、法律ノ規定シテ居ル條項カラ來ル命令又ハ處分デアリマス、或ハ免許ノ取消デアルトカ、或ハ第四條ノ二項ノ取消、事業ノ制限デアルトカ云フヤウナコトガ主トシテ想像サレテ居ルコトト思フノデアリマス

○藤田四郎君 ソレハ違テ居リマセウ、詰リ其結果ガ今ノアナタノ御話ナンデス、本法ニ基イテ發スル所ノ其元ハ何ダカト云フコトハ雲ヲ攫ムガ如キモノデアアル、ソレハ即チ監督廳若クハ監督官ニ於テ違反ト認ムル、命令ニ背イトルト云フコトニナルノデアリマスカラ、ソレガ即チ危險ノコトデアルトカ或ハ公益ニ害ガアルトカ云フヤウナコトニナルナラバ、ソレハ宜シイ、併ナガラ其以外ノコトハ、農林省ハ教ヘル、指導スル、訓諭的ノ下ニ爲サルト云フ御方針デアアルナラバ、此法律ヲ善用ガ出來テ大變結

構ナコトト思フノデスケレドモ、サウスレバ製絲家ダケノ利益ヲ保護シ得ラレルノデアッテ、養蠶家ニハドウカ知レマセヌガ、免モ角モ其目的ノ一半ハ達セラレル、併シ此事ガ廣ク及ブト云フコトニナッテ、利益増進モ這入ルト云フコトニナッテ來ルト甚ダ危險ヲ覺ユルノデ、ドウカシテ是ハ局限セラレテ、利益増進ノ如キハ指導訓諭、教ヘルト云フ方針ニ爲スッテ、サウシテ取締ノ方ハ公益トカ或ハ危險トカ云フヤウナコトカラ、警察官トカ地方長官トシテ當然監督スルモノニ付テ營業ヲ取消シタリ停止シタリスルコトガ出來ルコトヲ茲ニ一層明カニスルト云フコトニ御趣意ガナレバ、私ハ之ニ付テ反對スル意味ハ無イノデアリマス

○國務大臣(後藤文夫君) 大體御意見ノ通りナ趣旨デアリマス

○藤田四郎君 クドク伺ヒマスルガ、サウスルト今私ガ申上ゲタ通りデ大體宜シイデスナ

○國務大臣(後藤文夫君) ハイ

○藤田四郎君 サウスルト農林省ハ、公益トカ又ハ危險トカ云フヤウナモノニ付テノ取締ハシテ、其爲ニハ六條五條ヲ適用スル、其他ハ指導ノ精神デ行クト、固ヨリ免許ヲ與ヘラレルノハ是ハ別デスケレドモ、サウ

デアリマスレバ私ハ、此保護ヲ受クル所ノ製絲家ガ大イニ安心スルダラウ、サウスルト殘ル所ハ養蠶家ダケノ問題ニナル、私人質問シテモイケマセンカラ是デ一時止メマス

○男爵松岡均平君 大臣ノ御忙シイ所ヲ甚ダ何デスガ一言ダケデ宜シイ、政府委員モ居ラレマスコトデスカラ併セテ伺ヒタイ、實ハ本會議若クハ豫算總會デチョット伺ヒタイト思ッテ居リマシタガ、斯ウ云フ切迫ノ際デアリマスカラ多分其機會ガアルマイト思ヒマス、ト申スノハ、極ク書生論ノヤウナ話デスケレドモ、クドク申上ゲルコトハナイ、農村ノヤリ方ノ惡イ一ツハ、今迄ノ多クノ人ノ説ヲ綜合シテ承ハッテ居ル所ニ依リマス、養蠶ナラバ養蠶ト云フ方ノ技術的ノ御獎勵ハ非常ニ行届ク、或ハ米ナラバ、米作ト云フ方ハ御獎勵ガ行届ク、唯農家ヲ單位トシテ、農家ノ計畫經濟若クハ農村ノ計畫經濟ト云フコトニ十分ノ指導ガ及バナカッタ、又農家モ其心持ニナラナカッタト云フコトガ今日ノ禍ノ重大ナル原因ノ一ツデアルト云フコトハ珍シクナク言ハレテ居ルコトデアリマス、從ヒマシテ私ドモ同志ノ者ガソレヲ多少研究シマシタ時ニ、協同會ノ方カラ農林省ニ建議モ差出シタト思

ヒマスガ、昔ノヤウナ或ル意味ニ於テノ郡長ヲ復活スルコトモムツカシイデセウケレドモ、産業的ノ郡長トカ若シクハ農村計畫指導委員ト云フヤウナモノヲ適當ノ意味ニ於テ作ラレテハドウカト云フコトモ申上ゲテ、多分ソレハ御了承ニナッタコト考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ今度ノ御計畫、殆ド農村ニ付テ盡クスベキ大綱ニ付テハ漏レナク御考ヘニナッテ居ルコトト敬服シテ居リマスケレド、其點ニ付テノ何等ノ御施設モ無イヤウニ思ッテ居ル、此問題ヲ此委員會デ伺フノハ當ラナイカモ知レマセンガ、事、政治ニ關スルコトデアリマスカラ、殊ニ農村ノ窮乏ノ甚シイノハ、全力ヲ擧ゲテ單一經營、殊ニ養蠶ニ没頭シタ所ガ今回ノ打擊ガ酷カッタト云フ事實モアリマスカラ、此法案ニ直接ニハ關係ハゴザイマセヌケレドモ、冒頭ニ御斷リ申上ゲタ如ク、他ニ伺フ機會ガ無イカラ、御忙シイ時ニ甚ダ恐縮デスガ、サウ云フ點ニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居ルカ、念ノ爲ニ伺ッテ置キタイ

○國務大臣(後藤文夫君) 松岡男爵ノ只今ノ御尋ハ至極御尤ナコトニ私ドモ考ヘマスガ、農村ノマダ計畫的ノ經濟ノ立テ方、農家ノ計畫的ノ經濟ノ立テ方ガ無イ、從テ其計畫ニ基イテノ色ミナ組織的ナ共同的ナ活

調會ノ方カラ農林省ニ建議モ差出シタト思

同志ノ者ガソレヲ多少研究シマシタ時ニ、協同會ノ方カラ農林省ニ建議モ差出シタト思

同志ノ者ガソレヲ多少研究シマシタ時ニ、協同會ノ方カラ農林省ニ建議モ差出シタト思

動モ十分ニ出來テ居ラヌト云フヤウナ點ニ今日ノ農村ノ窮乏ノ重大原因ノ一ツガ存シテ居ルト思ヒマス、從テサウ云フ方向へ今日ヨリモヨリ善ク農村農家ヲ引張テ參ラナケレバナラヌノデアリマス、ソレニハ例ヘバ過去ニアッタ郡長ノヤウナ機關ガ農村ニアレバ宜シイデハナイカト、ソレモ至極同感デアリマス、今日、以前ノ郡長ノヤウナ機關ガアッタナラバ定メシ便利ダラウト思ヒマス、從テ郡長ノヤウナ機關ガ無イ迄モ、元ノ各郡ニ一人ミミナイ迄モ、何カ地方ノ機關ヲ通ジテサウ云フ指導ヲシテ行ク中心ノ機關トナルモノガアッタナラバ宜シクハナイカ、サウ云フコトモ至極御同感ニ存ジマス、唯、今度ノ施設ニ於キマシテハ、サウ云フ地方的ノ機關ヲ政府ノ管理又ハ地方ノ管理トシテ設置スルト云フヤウナコトニハ致シテ居リマセヌガ、農村ニ於テモ地方ニ於テモ、農村ノ經濟計畫ト云フモノヲ立テルコトニ付テノ指導獎勵ノ組織ヲ或程度ニ……甚ダマダ不十分ダト思ハレマスルケレドモ、著手シテ見ル、初期ノ際デモアリマスカラ、設ケマシテ、只今申上ゲマシタヤウナコトノ進展ヲ圖リタイト云フ考デ居リマス

ヒタイノデスガ、此法案ヲ御出シニナッタコトノ根本ニ付テノ考ガ、委員諸君ノ申ニモ大分御考ガ違フ御方ガ御有リノヤウニ見エマスケレドモ、併シ其議論ハ別トシマシテ、假ニ政府ノ斯ウ云フ風ナ統制ヲシテ重要輸出ノ大宗タル生絲ノ統制ヲ爲サラウト云フ御考ガ此立法ノ重大ナル一ツノ動議ト考ヘマスガ、之ヲ達成サレルニハ此法案ダケデハ不十分デハナカラウカ、又販賣統制其他ノ方面ニ於テノ統制ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルノカ、若シソレガナケレバ唯爲サザルニハ優ツテ居ルトハ考ヘマスケレドモ單リ是ダケデホンノ此程度ノ統制ヲ爲サツテ、ソレデ海外ニ於テノ所謂例ヘバ縮三綾、兩縮、其他現ニ統制ノ下ニ盛ンニ輸出サレテ居ル輸出品ノ如キ、統制ノ效果ヲ擧ゲ得マスカ、モウ少シ完全ナル所ノモノヲ御立テニナラナケレバ是デハ餘リ效果ガナイデハナイカト考ヘラレマス、此點ニ付テ御伺ヒ致シマス

○國務大臣(後藤文夫君) 其點モ至極御同感デアリマス、唯生絲ノ販賣統制ト云フコトハ更ニ餘程大キナ關係ヲ持ツ問題ニナリマス、海外ノ市場トノ關係内地ノ製絲業者或ハ問屋輸出營業者トノ關係、從テ其組織如何ニ依ツテ及ボス養蠶界ノ影響ト云フヤウナコトガナカク、重大ナ複雑ナ關係ヲ持ツテ參リマス、政府ニ於テモ色々考究ハ致シテ居リマス、又何等カノ形ニ於テ適當ナ統制ガ出來得ル程度ニ行ハレテ來テ居ルト云フコトハ必要ダト考ヘテ居リマス、折角サウ云フ問題ニ付テハマダ考究ヲ致シテ居ル際デアリマシテ、直グ簡單ニ確信ノアル成案ヲ得ルト云フ譯ニ參リマセヌ、先ヅ寧ロ簡易ト申スコトハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、製絲業ニ付テノ斯ウ云フ或程度ノ統制ヲ圖ラウト考ヘタ次第デアリマス

○藤田四郎君 私モ色々御尋ネシテ恐入リマスルガ、先刻産業組合ノコトニ付テ大臣ノ御説明モ了解イタシマシテゴザイマスルガ、是ハ希望トシテ申上ゲテ置キマスガ、新ニ許可セラレル前ニ能ク御考ヲ願ヒタイト云フコトヲ一ツ申上ゲテ置キマス、ソレカラ第八條ノ中ニアリマスルガ、大體六條ノヤウナ臨檢ト云フコトニ付キマシテハ是ハ當該官吏ト云フモノハ、視察臨檢スルト云フコトハ總テ秘密ト云フコトヲ原則トスル、殊ニ特ニ此當該官ヲ御置キニナル時ノ原則トシテ細決メニナツテ置カヌト云フト矢張り商機ニ關係スルコトガアルダラウト思ヒマスカラ、特ニソレハ官吏設置ノ場合ノ條件ノ一トシテ御置キニナルコトガ必要デナイカト思ヒマス、是ハ尙ホ念ノ爲ニ申上ゲテ希望シテ置キマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイマス、其外ニ何カ農林大臣ニ對スル御質問ハゴザイマセヌカ、其外政府委員ニ對シテハ御質問ハゴザイマセヌカ……ソレデハ大體御質問ガナケレバ、茲デ質疑ヲ終ハツタモノト致シマシテ、討議ニ移リタイト思ヒマス、此機會ニ於テ御意見ノアル御方ハ御述ベテ願ヒタイト思ヒマス

○男爵藤村義朗君 伺ヒマス、委員長ノ御意見デハ是デ以テ贊否ヲ決シテシマフト云フノデスカ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイマセウカ、御質疑ガ終リマシテ、茲デ討論ニ移リマシタラ御意見ヲ御述ベ下サイマシテ御意見ガ盡キマシタラ贊否ヲ決スル迄ニ行ケバ大變都合ガ宜イト私ハ思ヒマス

○藤田四郎君 大體今大臣、政府委員ヨリ説明ヲ伺ヒマシテ略ボ了解シマシテゴザイマスガ、此養蠶ニ對シテ或ハ私ハ何カ希望デモ申上ゲル機會ガアリハセンカト思ヒマシタノデスガ、今チヨット旨イ案ヲ持ツテ居リマセヌモノデスカラ御決議ニナルナラ一時間モ置イテ下スツテ、御決議ニナツたらドウデセウカ、別ニ之ヲドウシヤウト云フノ

デヤナイノデスカラ若シ養蠶家ノコトニ付テ希望決議デモ附帶スルコトガ出來タラ大變具合ガ宜カラウト思ヒマス、併シ私ニ成案ガアル譯デハナイノデスカラ……

○男爵松岡均平君 暫ク休憩イタシテ懇談會ヲヤッタラドウデセウ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ速記ヲ中止シテ下サイ

午後三時五十六分休憩

午後四時二十六分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 委員會ヲ再開イタシマス、討議ニ移ッテ居リマスノデスガ、此際此意見ノアル方ハドウゾ……

○男爵藤村義朗君 政府ノ御説明ニ依リマス、小規模ノ機械製絲工場ニハ色ミノ缺陷ガアル、其爲ニ製絲業界ノ安定ヲ妨ゲマシテ、蠶絲業全體ニ累ヲ及ボスト云フ虞レガアル、故ニ蠶絲業ノ健全ナル發達ヲスル爲ニ、製絲業ヲ免許制度ノ下ニ於テ或程度ノ統制ヲ加ヘルト云フコトガ、今日ノ國民經濟ノ情勢ニ於テハ必要デアル、故ニ此製絲業法ト云フモノヲ提出サレタノデアルト云フヤウナコトデアリマス、即チ政府ハ之ニ依ッテ製絲業ノ統制ヲ圖ラレ、蠶絲業全般ノ健全ヲ發達ノ一ツニ資シタイト云フヤウナ御考デアリマス、私ハ御趣意トシテハ誠

ニ結構ナコトデアルト思ヒマス、唯、今朝以來ノ委員會ニ於キマシテ、質疑應答ニ依ッテ御承知ニナリマシタ通りニ、隨分此製絲業法案ニ付キマシテハ相當論議ヲ容ルル餘地ガアルヤウニ思フノデアリマス、併ナガラ今日ノ情勢、時局ノ重大性ニ鑑ミマシテ、之ヲ次ノ通常議會迄延バストカ、或ハ多少ノ不備ノ點ガアル、心配ノ點ガアルト云フ爲ニ之ヲ否決スルト云フコトハ當ラヌト思ヒマス、デアリマスルカラ私トシマシテハ、此法案ニ對シマシテ、二三ノ希望條件ヲ附シテ原案ノ通り、即チ衆議院ガ修正シテコチラヘ廻付シマシタ其案ノ通り可決シテ然ルベシト私ハ思ヒマス、其希望條件ト申シマスノヲ一應朗讀シテ申上ゲマス、一、

本法ニ於テ主務大臣ガ命令ヲ以テ定ムル事項ニシテ其重要ナルモノハ蠶絲業關係團體ヨリ成ル民間代表機關ニ諮問シテ其意見ヲ求メラレタシ、是方其一ツ、今一ツハ本法ノ運用殊ニ監督ニ關シテハ政府ハ個人ノ自由ヲ尊重シ、斯業ノ健全ナル自然的發達ヲ阻害セザルヤウ注意セラレタシ、三ニハ本法ノ施行ニ依ッテ養蠶農民ノ產繭處理ニ不利不便ヲ來スガ如キコトナキヤウ深ク注意ヲ拂ハレタシ、此三事項ヲ希望條件トシマシテ之ヲ此特別委員會ニ於テ御決議下サイマシテ、本會議ニ可決ノ報告ト共ニ御報告

アラムコトヲ私ハ希望シテ本案ニ贊成スル者デアリマス

○金杉英五郎君 私ハ藤村男爵ノ意見ニ同意ヲ致シマス

○子爵會我祐邦君 同様贊成イタシマス

○藤田四郎君 私ハ本案ハ餘リ上等ナ案トハ思ヒマセヌデスケレドモ、段々政府ノ御説明ヲ聽キマシテ了解スル所モアリマシタシ、又只今藤村男爵ノ希望條件モ政府ニ於テ了得セラレルコトト信ジマシテ本案ニ贊成ヲ致シマス

○男爵平野長祥君 私モ藤村君ノ御意見ニ御同意ヲ致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 外ニ御意見ガナケレバ此際決ヲ採リタイト思ヒマス、原案ヲ可決シテ而シテ之ニ藤村男爵ヨリ述べラレマシタル三ツノ希望條件ヲ附スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 御異議ナイト認メマス、左様ニ決シマシタ

○藤田四郎君 尙ホ此希望條件ハ政府ハ御了解、承諾セラレルコトト信ジマシテ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(後藤文夫君) 只今御決議ニナリマシタ御希望ノ條件ハ、出來ルダケ御趣

旨ニ添フヤウニ致シタイト考ヘマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ本委員會ハ是デ終了イタシマシタ、散會イタシマス

午後四時三十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵兒玉 秀雄君

副委員長 男爵松平 均平君

委員 侯爵大隈 信常君
子爵會我 祐邦君
子爵織田 信恒君
男爵平野 長祥君
男爵藤村 義朗君
藤澤幾之輔君
藤田 四郎君
室田 義文君
坂田 貞君
金杉英五郎君
磯村豐太郎君
森 廣三郎君
佐々木八十八君

國務大臣 後藤 文夫君
農林大臣 後藤 文夫君
政府委員 農林參與官 松村 謙三君
農林省蠶絲局長 入江 魁君